2026年度

学生募集要項

国際学生選抜
International Student Selection

国際学生編入学者選抜
International Student Transfer Selection

For those applying to the College of Global Communication through Type E exam, please refer to pages 37-40.

桜美林大学
J. F. Oberlin University

●この冊子の情報は2025年7月1日現在の情報に基づくもので、諸般の事情により変更になる場合があります。変更が生じた場合には、受験生サイトにて随時お知らせします。
●選抜方式によっては募集のない学群・専修・専攻等がありますので、募集内容を確認してください。

目次

I. 入試概要 …… 1
1 はじめに …… 1
①桜美林学園のミッション …… 1
②桜美林大学の教育目標 …… 1
③各学群の養成する人材等 …… 1
2 アドミッションポリシー …… 2
①桜美林大学のアドミッションポリシー（学生の受入れ方針） …… 2
②学群別アドミッションポリシー（学生の受入れ方針） …… 3
③各選抜方法 …… 6
④各学群における注意事項 …… 6
3 出願から入学手続までの流れ …… 7

II. 募集内容・出願資格 …… 9
1 国際学生選抜・国際学生奨学生選抜 …… 9
国際学生　奨学生について …… 12
2 国際学生　編入学者選抜 …… 19

III. 個別の入学資格審査 …… 27

IV. 出願手続 …… 28
1 出願上の注意事項 …… 28
2 検定料について …… 29
3 受験票 …… 29
4 試験当日の注意事項 …… 30
5 受験時および修学時に特別な配慮や支援が必要な方 …… 30

V. 合否照会・入学手続 …… 31
1 合否照会・合格通知・振込用紙 …… 31
2 入学手続等（学納金の納入について） …… 31
3 在留資格「留学」の取得について …… 32
4 学納金 …… 33

VI. その他 …… 36
1 個人情報の取り扱いについて …… 36
2 キャンパスについて …… 36
3 グローバル・コミュニケーション学群の英語（E方式）受験について …… 37

I 入試概要

1 はじめに

① 桜美林学園のミッション

桜美林学園の使命は、キリスト教主義に基づく人間教育を通して、神、人間及び社会のために貢献する人間を育成することです。それは、どのような環境の中にあっても、常に未来に希望を持ち、他者の痛みを理解できる人間でなければなりません。また、現代社会の多様な価値観に対応でき且つ創造力と判断力に富んだ人間を育てることです。

② 桜美林大学の教育目標

桜美林大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、豊かな人間性を涵養するため幅広い知識を授けるとともに、専門学芸の研究と教育を行い、キリスト教精神に基づいた教養豊かな識見の高い国際的人材を育成することを目的としています。

③ 各学群の養成する人材等

リベラルアーツ学群は、広範な知識と深い専門性に裏付けられた思考力、分析力、柔軟な発想力を身につけた人間性豊かな人材の養成等を目的として、総合的教養及び専門的基礎学術に係る教育等を行う。

芸術文化学群は、パフォーミング・アーツ及びビジュアル・アーツの分野を幅広く追求し、アートの専門家として社会に通用するスキルを身につけた人材の養成等を目的として、総合的文化教育（芸術系分野）に係る教育等を行う。

ビジネスマネジメント学群ビジネスマネジメント学類は、国際社会で必要なビジネス感覚を養い、広範な知識から発想し、意思決定の行える、新しい経営マインドを備えた人材の養成等を目的として、幅広い職業人養成に係る教育等を行う。

健康福祉学群は、専門領域における確かな知識・技術を身につけ、人々の願い、悩み、喜びに共感できる、感性豊かな人間性をそなえた健康と福祉のエキスパートの養成等を目的として、専門的な職業人養成に係る教育等を行う。

グローバル・コミュニケーション学群グローバル・コミュニケーション学類は、語学に長け、コミュニケーション能力が高く、分析や創造を伴う思考力と問題解決に向けた計画力や実行力を有する人材の養成等を目的とし、協働活動を通してグローバルリーダーシップの基礎基本を修養できる教育等を行う。

航空学群航空学類は、卓越した英語力を有し、工学等の学問分野に裏打ちされた専門性の高い確かな知識と航空の基礎となる必須の知識と技倆を併せ持った航空の分野で活躍する人材の養成を目的とした教育等を行う。

教育探究科学群教育探究科学類は、教育学の豊かな知見に基づき、人間的かつ社会的な諸課題を学術的探究方法によって解決できる知識及び技能を修得し、人や組織の成長のためにリーダーシップを発揮できる人材の養成を目的とした教育等を行う。

2 アドミッションポリシー

① 桜美林大学のアドミッションポリシー　（学生の受入れ方針）

1. 輩出する学生像

桜美林学園のミッションは、キリスト教の精神を礎とし、教育や研究において誠実に真理を求め、隣人を思いやる心を持って、仕えることのできる人材を大学での学びと経験を通じて世に送り出すことです。

1921年5月に中国・北京から始まった学園の歴史的な観点を鑑みてもグローバル社会での活躍に必要不可欠な外国語運用能力、多様な文化的背景を持つ人々とともに生きる力を全ての学生に身につけさせます。

さらに予測不可能な様々な社会問題を解決に導くことのできる教養を高め、これからの社会を担う人材を輩出することにあります。

2. 求める入学者

本学は、このミッションに共感し、本学の教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心が持てる学生等であることを期待します。

また、主体的に学び、経験を積む姿勢、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人たちとコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

3. 入学までに身につけて欲しい能力と選抜方法

入学を希望する学生等には、以下の3点を身につけて入学してくることを求めます。

なお、選抜方法は、学群の特性も踏まえ、多様な入学者選抜制度を駆使して多角的に評価します。

①高等学校の学習指導要領に基づく学習範囲の知識・技能を修得していること。
（海外からの応募者はそれぞれの国や地域の高等学校までの課程を修了していること）

②高等学校までの学習や諸活動を通じて、様々な課題や困難に向き合い、その解決のために試行錯誤を繰り返す中で身につけた「思考力、判断力、表現力」があること。

③高等学校までの学習、部活動や外部のコミュニティ活動での共生、協働を通して、主体性や積極性を持って、チーム等で目標や課題に取り組んできた経験を有すること。

4. 入学者選抜の基本方針

「キリスト教精神を礎として、教育を通してグローバルな社会に貢献する人を育成する」ことが桜美林学園の建学の理念です。

また、学園の行動指針である「学而事人（がくじじじん）」（学んだことを人や社会のために役立てる）の精神を受け継ぎ、学園から巣立った後、困難な課題にも立ち向かい社会で活躍することが期待されています。

これからの社会に、「グローバルな人材」「『学而事人』の精神を受け継ぐ人材」を輩出しようとする本学は、教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心を持てる学生等であることを期待しています。

そして、主体的に学び、経験を積み、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人たちとコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

② 学群別アドミッションポリシー　（学生の受入れ方針）

■ リベラルアーツ学群

リベラルアーツ学群は、多文化理解を推し進め、一つの専門性だけにとらわれない学際的思考を駆使し、優れた分析・表現力をもって学問を通じた社会貢献を行う、国際性を有した「自立した学習者」（Independent Learner）を育成していきます。また、興味・関心や社会文化的背景の異なる多様な学生が集い、学び、知的刺激を与え合える教育の機会を提供します。そのため、本学群の学びは、幅広い学問に触れると同時に、本人の関心に応じて人文学、社会科学、自然科学のいずれかをより深く学び、拠って立つ足場、すなわち学問的基礎を修得することからはじまります。学生は、学問的基礎の修得を続けて各分野の専門性を深め、分析・表現力を養うと同時に、他の専門分野に対する理解や専門横断的な知見、俯瞰的な視野をあわせもち、一つの専門の枠にとらわれない自由な学際的思考を身につけていきます。加えて、学生は、留学やサービスラーニングなどの体験を通して、自らが深い興味関心を抱いた事柄や、関わりを持ったコミュニティや社会の課題と向き合い、国際性や多様な文化を理解する力、学問を通じた社会貢献ができる力を身につけます。以上の学修や経験を通して、未来を予測することが困難な時代の中で生きる力を養います。

【求める学生像】

学群の教育システムに共感し、学修や経験を通して、成長を望み、これからの時代に自らの学びと経験を以て、貢献しようとする人たちを国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
(2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(3) 広い分野の基礎的学力を持ち、人文学、社会科学、自然科学の領域・専門分野への強い関心を有する者
(4) 新しい分野への探求心と新たな体験へ挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ グローバル・コミュニケーション学群

グローバル化が加速する今日の社会において、高度な外国語コミュニケーション能力を基盤として、自らが関わるコミュニティの様々な課題に向き合い、積極的に課題解決に取り組むことのできる人材が必要とされています。

GC学群では、その基礎となる高度な外国語運用能力を修得し、グローバル化した社会で増えている多文化が共存するコミュニティをよりよく機能させるために必要な専門知識を学びます。真の多文化共生社会を実現する過程で直面する問題や課題に対し、多角的な視野と専門知識をもとに思考と分析を行い、言語の壁を超えた高いコミュニケーション能力を生かして、コミュニティにおいて欠かせない存在として、課題解決に向け、共同作業の中で自己の役割を堅実に果たせる人材を育成します。

【求める学生像】

学群の教育理念に共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域、背景を問わず求めます。

また、ここでの学びを始めようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者（特に外国語運用能力）
(2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(3) 世界の国・地域および自国に対して強い関心を有する者
(4) グローバル社会において積極的に学修や経験に挑戦する意欲を有し、多文化共生実現に強い関心と意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ ビジネスマネジメント学群

「国際性」に優れ、「奉仕の精神」と「おもてなしの心」、「コミュニケーション能力」と「情報リテラシー」を兼ね備えた人材を育成します。さらに、所属する企業や各種機関、コミュニティにおいて、予測不可能な様々な課題に向き合い、「マネジメント能力」を駆使して、積極的に課題解決に取り組むことのできる力を身につけさせます。

特に、学修過程においては、理論と実践のバランスのとれた「マネジメント能力」を養うためにインターンシップ等の実習体験を積極的に展開していきます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
(2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(3) 社会の出来事、国や地域、企業などの取り組みに強い関心を有する者
(4) 社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ 健康福祉学群

少子高齢社会や多様で高度な福祉ニーズに対応できる、健康と福祉のプロフェッショナル育成を目的としています。専門職として活躍するためには、乳幼児から高齢者までの人間の成長、発達や生活に関心を持ち、一つの専門領域にとどまらず、広い範囲の知識や技術を身につけ、多角的な観点から総合的にものごとを考える力が必要となります。

グローバル社会においては、多様性の尊重は基本理念であり、人々の願い、悩み、喜びに共感できる人間性を備え、様々な立場の人を理解し、受けいれ、共生社会の実現に貢献する実践家であることが期待されます。

そこで、学群に、「健康・スポーツ領域」「福祉・心理領域」「保育領域」の3つの学問領域、6つの専攻（健康科学・スポーツ科学・社会福祉学・精神保健福祉学・実践心理学・保育学）を配置し、マイナープログラムと併せて、自らが興味関心を抱いた専門的な学びを深めるとともに、関連領域にも学びを発展させます。

4年間の学生生活では、知識・理解を深める学びにとどまらず、体験的・実践的な学びを積み重ねることにより、社会の課題を解決する実践力を身につけます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
(2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(3) 人々の健康、こころ、からだ、福祉に強い関心を有する者
(4) 社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ 芸術文化学群

芸術の創り手として作品やパフォーマンスを提供する人材のみならず、幅広い芸術活動を通じて社会の発展に寄与する人材は、人間文明の初期から現在まで変わらずに必要不可欠な存在です。特に時代の変換点に立つ現代社会では、様々な創作活動の中で行われる試行錯誤を通して、そのプロセスに潜在する「予測困難な問題」を見つけ出し、さらにはその問題を解決に導くことの出来る人材が必要とされています。

本学群では、「演劇・ダンス」「音楽」「ビジュアル・アーツ」というそれぞれの領域において、人間の営みと密接な関わりを持つこのような芸術文化を理解し、その理論や歴史、表現を学ぶことで社会を構成する自分自身と多様な他者をより深く探求して共に生きる力を身につけようとする学生を求めます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
(2) 創作活動や芸術鑑賞を通して、芸術の学術的な学びに求められる意欲と関心を有する者
(3) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
(4) 芸術、文化、人間、表現、コミュニケーション等に強い関心を持ち、創作活動やアートマネジメント等に積極的に挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ 教育探究科学群

本学群は、ディプロマ・ポリシーへの到達によって、生涯を通じて営まれる種々の教育的活動を通じ、自らの探究心と好奇心をもとに社会を改善していく者の育成を目指しています。卒業後に所属する組織や企業においては、教育学的指向と探究科学の手法を活かし、人、物事、アイデア、組織などをつなぐ共創型のファシリテーション機能を持つことを期待されています。

授業においては、自らの探究心や好奇心に基づく意思決定の機会が多く、また、「学びあい、教えあい」のコンセプトのもと、自らが学ぶだけでなく、他者に教えることによって学んでいくため、自他の成長への関心を持っている必要があります。

【求める学生像】

本学群は、学群の価値観や文化に共感する者を求めており、その選抜においては、以下の資質や能力をはかります。

(1) 関心意欲が高く、色々な物事に興味関心を持てる好奇心を有する者
(2) 主体的に学習に取り組む態度を有する者
(3) 「学びあい、教えあい」のコンセプトや、自他の成長や変化への関心を有する者
(4) 教育的活動を通じ、社会を良くしたいという意欲を有する者
(5) 探究的な学びへの関心を有する者

■ 航空学群

本学群は、「航空機の操縦」、「航空管制」、「航空機の整備管理」、「空港の運営」等、航空の各分野で活躍できるプロフェッショナルを育成することを目的としています。これらの分野で活躍するためには、航空工学、種々の法規程類を理解し、かつ高い語学運用能力を兼ね備える必要があります。さらに、経済、経営にも関心を持ち幅広く横断的な知識と高度な専門知識と技量を習得し、豊かなマネジメント能力が求められます。航空業界ひいてはグローバル社会に貢献できる人材を育成していきます。

【求める学生像】

本学群では、この教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

(1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者（特に、外国語運用能力と数理科学に関する基礎的な知識・技能）
(2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自律心を有する者
(3) グローバルな社会の出来事、航空業界、国や地域、関連する産業界等の取り組みに強い関心を有する者
(4) 社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

③ 各選抜方法

【国際学生選抜／国際学生編入学者選抜】

建学の理念に基づき多様な人々とともに学べる教育環境の構築を目指し、国際学生を積極的に受け入れています。それぞれの学群での教育を受けるために必要な「基礎学力（知識・技能）」だけではなく、社会・他大学での学習や諸活動を通して身につけた「思考力・判断力・表現力」を評価します。

④ 各学群における注意事項

リベラルアーツ学群の領域選択について

出願の際に、「人文」「社会」「自然」の3つの領域の中から希望の領域を1つ選択してください。

入学後は、出願時に選択した領域の専門基礎科目を多く履修することとなります。

（出願時に選択した領域から最低10単位、他の2領域からそれぞれ最低4単位ずつ修得することが卒業要件となります。）

※卒業時のメジャー（主専攻）とマイナー（副専攻）は、入学時に選択する領域と異なるものであっても問題ありません。
※出願時に選択した領域によって学校推薦型選抜における課題図書や、一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜における受験科目等が異なります。詳細は各募集要項を確認してください。なお、出願時に選択する領域によって合否判定の結果に影響が及ぶことはありません。大学入学後に学びたい領域を選ぶようにしてください。
※インターネットでの出願完了後に志望学群、領域、選抜方式の変更は一切できません。出願時に学群、領域ならびに選抜方式に間違いがないかを必ず確認してください。
※編入学者選抜で3年次編入を志望する者は、「人文」「社会」「自然」の3つの領域から希望する領域を1つ選択し、あわせて希望するメジャー（主専攻）とマイナー（副専攻）をすべてのプログラム（統合領域含む）から選択してください。なお、メジャーとマイナーは異なる領域から1つずつ選択してください。また、メジャーとマイナーは必ずしも出願時に選択する領域から選ぶ必要はありません。入学時に選択した領域は入学後に変更できません。メジャーとマイナーは入学後に変更することが可能です。
※3年次編入学者の専攻演習（ゼミ）または探究サービスラーニングの選択は入学後となりますが、必ずしも希望する教員の専攻演習または探究サービスラーニングが履修できるとは限りません。

グローバル・コミュニケーション学群の希望の言語について

グローバル・コミュニケーションには「英語」「中国語」「日本語」「トリリンガル」の4つの言語トラックがあります。出願時に学修を希望する言語トラックを1つ選択してください。トリリンガルトラックへ出願する場合は、2年次に学修を希望する言語も選択してください。入学後は、この欄で選んだ言 語を1年次の必修語学科目として学びます。「パブリック・リレーションズ専修」「言語探究専修」「文化共創専修」のいずれかの専修は、入学後に選びます。

※トリリンガルトラックは1年次に韓国語、2年次に英語または中国語を学びます。
※入学後に学修を希望する言語トラックとして第一言語は選択できません。第一言語とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します
※国際学生選抜および国際学生編入学者選抜では出願時にトリリンガルトラックの選択はできません。

ビジネスマネジメント学群の領域とプログラム選択について

ビジネスマネジメント学群の各領域は、ビジネスマネジメント学群として一括募集となります。エアラインビジネス領域のゼミ履修とエアラインホスピタリティ留学の希望者は、1年次秋学期以降に行われる選抜に合格する必要があります。

健康福祉学群の専攻選択について

健康福祉学群は、出願の際に「健康科学専攻」「スポーツ科学専攻」「社会福祉学専攻」「精神保健福祉学専攻」「実践心理学専攻」から専攻を1つ選択してください。

芸術文化学群の専修選択について

芸術文化学群は、出願の際に「演劇・ダンス専修」「音楽専修」「ビジュアル・アーツ専修」から専修を選択します。

航空学群の3コース（航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コース）について

航空学群 3コースは、出願の際に現時点で学修を希望するコースを選択してください。この選択は選抜の合否には一切関係しません。

2年次からのコース選抜については1年次終了までに行われる希望調査の結果に原則従いますが、希望するコースに極端な偏りがあった場合は審査を行い、その結果により所属コースが決定します。

この入試概要には全学群の情報を掲載しています。選抜方式によっては募集のない学群もありますので、募集内容を確認してください。

3 出願から入学手続までの流れ

Step 1 出願期間等の日程・出願書類を確認する

● 入試日程と出願書類の詳細は、各選抜ページをご確認ください。

Step 2 出願書類を作成・準備する

● 選抜方式ごとに必要な出願書類が異なります。

Step 3 「インターネット出願サイト」から出願する

① 事前準備

インターネット環境

インターネットに接続されたパソコン、タブレットを用意してください。接続状況が不安定になるスマートフォン、タブレットではインターネット出願が完了できない場合がありますので、利用環境が安定しているパソコンでの出願を推奨します。

顔写真データ

出願時にデータをアップロードしてください。

プリンター

「郵送ラベル」の印刷、「受験票」の印刷（A4サイズ推奨）に必要です。

メール受信許可

登録完了後、確認メールを送信します。携帯メールを登録する場合は、送信元（eraku-p.jp、obirin.ac.jp）の受信を許可してください。

② 「インターネット出願サイト」にアクセス

● 桜美林大学「受験生サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスしてください。

桜美林大学「受験生サイト」» http://admissions.obirin.ac.jp/

③ 出願内容の登録・確認

画面の指示に従って志望学群・選抜方式を選択 > 個人情報の入力 > 出願内容の確認

● 出願登録が完了すると、確認メールが届き、「マイページ」が作成されます。
● 最終画面の「申し込み完了画面」最終ページに、「マイページ」への「ログインID（初回のみ）」と、検定料の「お支払い番号」が表示されます。忘れないように控えておいてください（確認メールにも記載されています）。

④ 検定料の支払い

● コンビニエンスストア(日本国内限定)またはクレジットカードで検定料の支払いをしてください。

利用できるコンビニエンスストア

セブンイレブン	ローソン
ミニストップ	ファミリーマート
デイリーヤマザキ	セイコーマート

※検定料のほかに手数料が必要です。
※支払期限内に検定料の支払いがなかった場合は、登録情報は無効になります。
※領収書の提出は必要ありません。お手元に保管してください。

利用できるクレジットカード

VISA / Mastercard / JCB / Union Pay（銀聯） / AMERICAN EXPRESS / Diners Club INTERNATIONAL

支払い方法でクレジットカードを選択した場合は、登録完了と同時に入金が完了となります。
※検定料のほかに手数料が必要です。

検定料の支払い後は出願内容の変更、検定料の返還が原則できませんので、支払い前に出願内容の確認を必ず行ってください。

⑤「インターネット出願サイト」で書類を提出

- 全ての書類が郵送ではなく、オンライン入力・データアップロードの形式で提出になります。

> インターネット上で入力しただけでは正式な出願となりません。
> ※登録完了後、検定料を支払い、出願書類を出願期間内に提出することで出願完了となります。余裕をもって出願してください。なお、書類に不備等があった場合は、本学から確認の連絡をいたします。

⑥「受験票」の発行・確認・印刷

- 出願書類を受理した後、「インターネット出願サイト」の「マイページ」より「受験票」を発行しますので、受験番号等を確認してください。受験票の郵送はしていません。
- 「受験票」の発行日については各選抜の「出願期間等の日程」で確認してください。
- 「受験票」は印刷し、試験日に必ず持参してください（A4サイズ推奨）。

> 受験番号は合否照会にも必要です。印刷した「受験票」は大切に保管してください。

Step 4 試験を受験する

- Step3の⑥で印刷した「受験票」を必ず用意してください。

Step 5 合否を「マイページ」より確認する

- 合格通知の郵送は行っていません。

Step 6 入学手続（入学金、授業料等の納入）を行う 合格者のみ

- 「マイページ」から振込用紙を印刷し、所定の期日までに入学金、授業料等を納入してください。振込用紙の郵送は行っていません。
- 入学手続締切後の手続きは一切受け付けません。

問い合わせ先

入学部インフォメーションセンター
TEL：042-797-1583
［平日］9:00～17:00（土・日・祝・大学一斉 休暇期間　閉室）
※大学一斉休暇期間：8月10日～8月16日、12月27日～1月6日
メール：info-ctr@obirin.ac.jp

インターネット出願で困ったら
「よくある質問」はコチラから!

Ⅱ 募集内容・出願資格

1 国際学生選抜・国際学生奨学生選抜

募集学群・募集人員

学群・専攻・専修		募集人員 国際学生選抜　国際学生奨学生選抜
リベラルアーツ学群		50人以内
グローバル・コミュニケーション学群		35人以内
ビジネスマネジメント学群		45人以内
健康福祉学群	健康科学専攻	10人以内
	スポーツ科学専攻	
	社会福祉学専攻	
	精神保健福祉学専攻	
	実践心理学専攻	
芸術文化学群	演劇・ダンス専修	10人以内
	音楽専修	
	ビジュアル・アーツ専修	
教育探究科学群		若干名

※国際学生選抜における航空学群、健康福祉学群保育学専攻の募集はありません。

出願資格と選抜方式固有の出願条件

日本の学校教育法にもとづく小学校・中学校・高等学校・中等教育学校等に在学した期間が通算6年以内であり、次のI.Ⅱ.Ⅲ.の条件をすべて満たす者。

I. 次の各号のいずれかに該当する者または2026年3月31日までに該当する見込みのある者。

*選抜方式によっては、以下1～13に加え、選抜方式固有の条件を課している方式もあります。詳細は、各ページを確認してください。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
2. 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程［文部科学大臣指定準備教育課程一覧★1］または研修施設［文部科学大臣指定研修施設一覧★2］の課程を修了する必要がある。）
   *「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験（アメリカ合衆国のGED test等。）に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程［文部科学大臣指定準備教育課程一覧］または研修施設［文部科学大臣指定研修施設一覧］の課程を修了する必要がある。）
   *合格した学力認定試験が12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
5. 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程（文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧★3）を修了した者
6. 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校（我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧★4）を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程［文部科学大臣指定準備教育課程一覧］を修了する必要がある。）
7. 高等学校と同等と認定された在外教育施設（文部科学大臣認定等在外教育施設［高等部を設置するもの］一覧★5）の課程を修了した者
8. 指定された専修学校の高等課程（文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧★6）を修了した者
9. 旧制学校等を修了した者
10. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者
11. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設（国際的な評価団体認定外国人学校について★7）の12年の課程を修了した者
    *CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。
12. 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者
    （なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。）
13. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者
    *上記13で出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査の手続が必要です。詳しくは、P.27を確認してください。

Ⅱ. 本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者、または高等教育機関において、必要な期間学ぶことのできる在留資格等を有する者。または、日本の在留資格が「永住者」、「定住者」である者。

［注意］本学では合格者に対するビザの代行申請等は行いませんので、予めご承知おきください。
出願書類「在留資格認定証明書 大学代理申請願」を確認・記入のうえ、その他出願書類とあわせて提出してください。なお、日本国外に居住し、「留学」の査証（ビザ）を持っていない者が査証（ビザ）を取得する流れは、「Ⅴ.3在留資格「留学」の取得について」（P.32）を確認してください。

★1 文部科学大臣指定準備教育課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm
★2 文部科学大臣指定研修施設一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm
★3 文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm
★4 我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm
★5 文部科学大臣認定等在外教育施設（高等部を設置するもの）一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/004.htm
★6 文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1234679.htm
★7 国際的な評価団体認定外国人学校について
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

Ⅲ. 各学群が定めるいずれかの語学資格の点数以上を取得していること※1。

学　群	国際学生選抜	国際学生　奨学生選抜
リベラルアーツ学群	●「日本語能力試験（JLPT）」N1 ●「日本語能力試験（JLPT）」N2合格で108点以上 ●「日本留学試験（EJU）」「日本語（記述は除く）」220点以上※3 ●「J-CAT」260点以上　＊J-CATについては、「■『J-CAT』の受験について」参照 ●「JPT」600点以上 ●「J.TEST」650点以上 ●「NAT-TEST」1級	●「日本語能力試験（JLPT）」N1 ●「日本語能力試験（JLPT）」N2合格で108点以上 ●「日本留学試験（EJU）」「日本語（記述は除く）」220点以上※3 ●「J-CAT」260点以上　＊J-CATについては、「■『J-CAT』の受験について」参照 ●「JPT」600点以上 ●「J.TEST」650点以上 ●「NAT-TEST」1級
ビジネスマネジメント学群		
芸術文化学群(ビジュアル・アーツ専修)		
健康福祉学群	●「日本語能力試験（JLPT）」N1を受験し、54点以上取得 ●「日本語能力試験（JLPT）」N2 ●「日本留学試験（EJU）」「日本語（記述は除く）」200点以上※3 ●「J-CAT」250点以上　＊J-CATについては、「■『J-CAT』の受験について」参照 ●「JPT」525点以上 ●「J.TEST」600点以上 ●「NAT-TEST」2級以上	
芸術文化学群(演劇・ダンス専修、音楽専修)		
教育探究科学群		
グローバル・コミュニケーション学群(J方式)※2		
グローバル・コミュニケーション学群(E方式)※2 （ただし、日本語トラックでの卒業を希望する場合は入学時に相応の日本語力が必要となります）	●TOEFL iBT® 61点以上※4 ●TOEIC® L&R600点以上※4 ●IELTS™5.5以上※4 ●HKDSE English Language Subject Level3以上	●TOEFL iBT® 67点以上※4 ●TOEIC® L&R710点以上※4 ●IELTS™6.0以上※4 ●HKDSE English Language Subject Level4以上

※1 いずれも対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年間以内に受験し取得した級・スコアが有効となり、出願時に語学資格を取得している必要があります。

※2 グローバル・コミュニケーション学群では、選択した方式により志望理由書等の出願書類を記述する際の言語が異なります。J方式で出願した場合は日本語、E方式で出願した場合は英語による記述が必要です。

※3 日本語は聴解、聴読解、読解の合計（記述は除く）。

※4 TOEFL ITP®、TOEFL iBT® MyBest™ scores、TOEIC® IP、IELTS™（General Training Module）は対象としません。TOEFL iBT® Special Home Editionは対象とします。

■「J-CAT」の受験について

「J-CAT（Japanese Computerized Adaptive Test）」で取得したスコアを出願資格として用いることができます。本学が主催した試験のスコアのみ有効です。他団体主催の「J-CAT」や、個人でアカウントを申請し、受験した際のスコアは利用できません。

※詳細は本学ホームページ（https://admissions.obirin.ac.jp/admissions/jcat/）から確認してください。

※新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、日本語能力試験（JLPT）や日本留学試験（EJU）の受験機会が回復されている現状を踏まえて、本学での「J-CAT」受験の取り扱いを再検討するため、2025年7月現在、本学主催の「J-CAT」試験実施を休止しています。再開する場合は、本学ホームページでお知らせします。

国際学生　奨学生について

1. 奨学金の内容

授業料10%～100%減免（下記の3.　継続条件を満たした場合、修業年限内最大4年間減免）

授業料の減免額は受験者の成績や語学能力、課外活動や面接内容等を基に総合的な選考を行った上で決定します。決定された減免額は合格発表日に「マイページ」にて通知します。

2. 奨学生の前提条件

下記の（1）～（3）は奨学金申請の前提条件となりますので、必ず確認し、了解のうえ、出願してください。

（1）仕送り金額（学納金分の金額を除く）が、平均月額90,000円以下であること。

（2）在日している扶養者がいる場合、その年間所得が、独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金の収入基準額以下であること。
詳しくは独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）のWebサイトを確認してください。

（3）年額100,000円以上の他の学内奨学金および文部科学省外国人留学生学習奨励費と同額以上の他団体奨学金との併給は不可。受給中は、文部科学省外国人留学生学習奨励費の申請はできません。

3. 継続条件

学期ごとに継続審査を行います。条件は以下の通りです。条件を満たせなかった場合、翌学期の奨学金は停止、停止3回目で奨学生としての資格を失い、廃止となります。

（1）入学時からの通算GPA※が3.0以上であること。
※GPAとはGrade Point Average の略称で成績評価の平均値を示します（最高値は4.0）。

（2）学期ごとに大学が定めた累計修得単位数の基準を満たすこと。

（3）各学期終了時に、修学・生活状況報告書を提出すること。

詳細は、国際学生奨学生選抜に合格後、書面にてお知らせします。

4. 国際学生奨学生選抜の合格について

合格には「奨学生として合格」「奨学生の対象でない合格」の2種類があります。いずれも入学手続を行うか否かは任意です。

5. 高等教育修学支援制度（大学の授業料減免）との併給について

本学では、国際学生奨学金と高等教育修学支援新制度（大学の授業料減免）の併給はできません。

合格後、入学手続きの締め切りまでに、どちらの授業料減免を希望するかを選択していただきます。

国際学生奨学金を選択される場合は、予約採用で採用候補者となっている方は、高等教育修学支援新制度（授業料減免）は受けることはできませんが、日本学生支援機構の給付奨学金は受給されます。なお、入学した学期に高等教育修学支援新制度に新規で採用された場合（在学採用）でも、その学期は高等教育修学支援新制度（授業料減免）は受けられません。

高等教育修学支援新制度（大学の授業料減免）を選択する場合は、自動的に国際学生奨学金は辞退となります。

高等教育修学支援新制度の採用が確定していない場合は、「国際学生奨学金」を選択してください。

① 選抜方法

合否判定は、各方式において実施する試験方法による総合評価で行います。

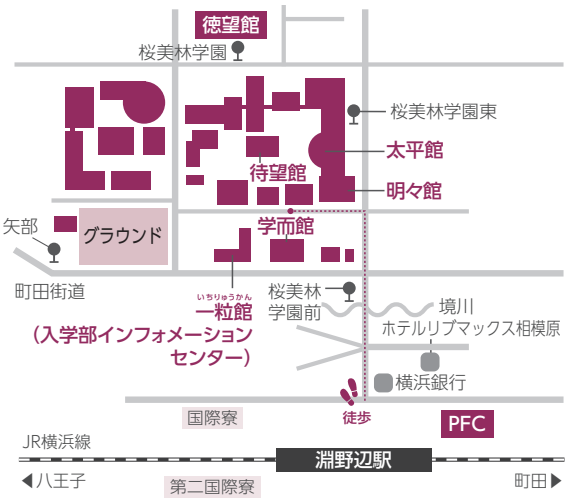
重要

面接試験の実施方法について

受験生の区分	面接形式	会場・備考
日本国籍者または日本国内の在留資格「あり」の志願者	キャンパスでの面接	桜美林大学町田キャンパス
日本国内の在留資格「なし」の志願者※1 ※2	オンライン面接	自宅等での受験
中国在住者（国籍や在留資格問わず）※1	指定会場へ来場してオンライン面接	指定拠点会場に集合 ・北京：北京外国語大学 ・上海：同済大学

※1本学キャンパスに来校してのオンライン受験はできませんのでご注意ください。
※2オンライン面接を受験する対象者は、事前接続テストへの参加が必須となります。（※中国在住者で指定会場でのオンライン面接を行う受験生は不要です）詳細については「4試験当日の注意事項」（30ページ）をご参照ください。

■試験会場(町田キャンパス)
〒194-0294　東京都町田市常盤町3758



[スクールバス]
JR横浜線「淵野辺駅」北口よりスクールバスにて約8分。
[路線バス(有料)]
JR横浜線「淵野辺駅」北口より神奈中バスにて「町田バスセンター行」または「小山田桜台行」で約8分、「桜美林学園前」下車。
[徒歩]
JR横浜線「淵野辺駅」北口より徒歩約25分。

■ リベラルアーツ学群/ビジネスマネジメント学群/芸術文化学群/健康福祉学群/教育探究学群

選抜方式	選抜方法等
国際学生選抜	1.書類審査 (各学群が定める語学の成績を含む) 2.面接 (約15分) ※1
国際学生奨学生選抜	

※1 芸術文化学群は出願書類として提出した小論文の内容を含む

■ グローバル・コミュニケーション学群の選抜方法について

グローバル・コミュニケーション学群は、日本語(J方式)または英語(E方式)で受験することができます。いずれかの方式に出願してください。なお、ここで言う言語(日本語・英語)は、出願書類および試験(筆記試験等)で使用する言語であり、入学後、学修を希望する主たる言語ではありません。

●グローバル・コミュニケーション学群(J方式):日本語で受験する方式(出願書類、志望理由書等は日本語で記入)

選抜方式	選抜方法等
国際学生選抜	1.書類審査 (各学群が定める語学の成績を含む) 2.面接 (約20分) ※2
国際学生奨学生選抜	

●グローバル・コミュニケーション学群(E方式):英語で受験する方式(出願書類、志望理由書等は英語で記入)

選抜方式	選抜方法等
国際学生選抜	1.書類審査 (各学群が定める語学の成績を含む) 2.面接 (約20分) ※2
国際学生奨学生選抜	

※2 面接方法についてはP.18(**グローバル・コミュニケーション学群の審査方法**)を確認してください。また、P.37～(6グローバル・コミュニケーション学群の英語(E方式)受験について)も確認してください。

② 出願期間等の日程

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
9月 2025	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

25 Ⓐ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
10月 2025			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 ⒷⒸ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
11月 2025						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7 Ⓓ　11 Ⓔ　15 Ⓕ　21 Ⓖ　28 Ⓗ

第１回（日時は全て日本時間）

■ インターネット出願

Ⓐ 出願登録：9月25日㈭～10月8日㈬
最終日は正午（12時）まで

Ⓑ 検定料支払期限：10月8日㈬

Ⓒ 出願書類提出期限（オンライン）：10月8日㈬

■ Ⓓ 受験票発行開始日：11月7日㈮
15時から順次発行
集合時間等の詳細については、インターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行・印刷し、確認してください。

■ Ⓔ オンライン面接試験事前接続テスト※1（対象者のみ）
11月11日㈫9:00 ～ 11月12日㈬17:00
※都合の良い日時にアクセスしてテスト実施（所要時間10分程度予定）
※中国在住者で指定会場でのオンライン面接を行う受験生は事前接続テストは不要です

■ Ⓕ 試験日：11月15日㈯

面接会場
［全学群］町田キャンパス
※日本国籍を有しない者、有効な在留カードを有しない者、中国在住者（北京・上海の拠点会場で実施）はオンライン。

Ⓖ 合格発表日：11月21日㈮
合否照会は10時から可能です。合格者のみ13時から合格通知（振込用紙）が確認できます。

■ Ⓗ 手続締切日※2：11月28日㈮
一括納入（入学金 + 春学期学納金）※期限厳守

※1〈オンライン面接試験事前接続テスト〉対象者にオンラインでの接続を事前に行います。テストの詳細は受験票発行日にお知らせします。なお、合否には一切関係ありません。
※2入学手続については、P.31（Ⅴ合否照会・入学手続）を確認してください。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
2025 11月						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18 Ⓐ	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28 ⒷⒸ	29
30						

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
2025 12月	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19 Ⓓ	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
2026 1月				1	2	3
4	5	6	7 Ⓔ	8	9	10 Ⓕ
11	12	13	14	15	16 Ⓖ	17
18	19	20	21	22	23 Ⓗ	24
25	26	27	28	29	30	31

第2回（日時は全て日本時間）

■ インターネット出願

Ⓐ 出願登録：11月18日㈫～11月28日㈮
最終日は正午（12時）まで

Ⓑ 検定料支払期限：11月28日㈮

Ⓒ 出願書類提出期限（オンライン）：11月28日㈮

■ Ⓓ 受験票発行開始日：12月19日㈮

15時から順次発行
集合時間等の詳細については、インターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行・印刷し、確認してください。

■ Ⓔ オンライン面接試験事前接続テスト※1（対象者のみ）

1月7日㈬9：00～1月8日㈭17：00
※都合の良い日時にアクセスしてテスト実施（所要時間10分程度予定）
※中国在住者で指定会場でのオンライン面接を行う受験生は事前接続テストは不要です

■ Ⓕ 試験日：2026年1月10日㈯

面接会場
［全学群］町田キャンパス
※日本国籍を有しない者、有効な在留カードを有しない者、中国在住者（北京・上海の拠点会場で実施）はオンライン。

Ⓖ 合格発表日：2026年1月16日㈮
合否照会は10時から可能です。合格者のみ13時から合格通知（振込用紙）が確認できます。

■ Ⓗ 手続締切日※2：2026年1月23日㈮

一括納入（入学金＋春学期学納金）※期限厳守

※1〈オンライン面接試験事前接続テスト〉オンラインでの接続を事前に行います。テストの詳細は受験票発行日にお知らせします。なお、合否には一切関係ありません。
※2入学手続については、P.31（Ⅴ合否照会・入学手続）を確認してください。

③ 出願書類

【出願書類】

全ての書類がオンライン提出で、郵送不要です。提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。

提出方法	チェック	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	□	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	□	志望理由書	4	
ウェブ入力	□	経費支弁書	12	「永住者」「定住者」は提出不要。その他の資格（「留学」、「家族滞在」等）は要提出。
データ	□	顔写真データ	–	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。**データ加工不可** （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
PDFデータアップロード	□	高等学校等卒業・修了証明書または卒業・修了（見込）証明書	–	出身高等学校等発行の証明書で卒業証書ではありません。日本の高等学校を卒業する（見込）者は高等学校発行の「調査書」を提出すること。コピー不可 証明書が日本語・英語以外の言語の場合は、あわせて日本語訳(出願者本人による翻訳で可、様式は任意。)を提出すること。
PDFデータアップロード	□	高等学校等の成績証明書	–	出身高等学校等発行の証明書であること。コピー不可 証明書が日本語・英語以外の言語の場合は、あわせて日本語訳(出願者本人による翻訳で可、様式は任意。)を提出すること。
PDFデータアップロード	□	出願資格に関する日本語、英語の資格証明書の写し	–	「出願条件」で定めている日本語、英語の語学に関する資格証明の写しを提出してください。英語のスコアを提出する方も、日本語テスト等のスコアがある場合は、得点・成績の記載のある証明書を提出してください。 ※「日本留学試験(EJU)」の場合は、成績確認書を提出すること。 **グローバル・コミュニケーション学群への出願者**で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。
PDFデータアップロード	□	合格証明書・認定書・語学力評価のスコア	–	日本留学試験、日本語能力試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等、過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。
ウェブ入力	□	活動報告書	3	**芸術文化学群を受験する方のみ、提出してください。** 高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。 ただし、幼少期等から始めた活動であっても、高等学校等入学時点で継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 別添資料（コピー可）の提出は任意です。資料や提出物は返却しません。
PDFデータアップロード	□	小論文（芸術文化学群用）	6	**芸術文化学群を受験する方のみ、提出してください。** ※小論文は「芸術と社会」をテーマに、あなた自身の考えを日本語800字以内で論じてください。

対象者別追加提出書類

<日本国籍、または有効な在留カードを有する出願者>

提出方法	チェック	様式名	様式番号	注意事項
PDFデータアップロード	□	住民票の写し	–	在留資格が記載されているもの。マイナンバーの記載は不要。コピー不可 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

<在留資格が「留学」の出願者>

提出方法	チェック	様式名	様式番号	注意事項
PDFデータアップロード	□	日本語学校等の証明書類または「確認証明書」	–	【日本国内の日本語学校に在籍または直近で在籍していた者】 ①成績証明書、②出席状況証明書、③修了(見込)証明書。 【日本語学校等の証明書類がない者】様式11の書類を提出。 【日本の大学または専門学校に在籍している者】 ①成績証明書、②在籍証明書。 ※一通の証明書に上記の内容が併記されている場合は重複する内容の証明書提出は必要ありません。 ※成績証明書には、可能な限り語学授業のクラス・レベル名を明記してください。

<在留資格認定証明書の申請が必要な方>

提出方法	チェック	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	□	在留資格認定証明書大学代理申請願	14	「在留資格認定証明書」の申請が必要な方は提出してください。

■ グローバル・コミュニケーション学群の審査方法

グローバル・コミュニケーション学群では、語学力を測るため、複数の言語で面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。
面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接時間は約20分です。
面接では志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。

○：面接で必ず使用する言語　△：面接で必要に応じて使用する言語

第一言語*	入学を希望する言語トラック	面接で使用する言語				
		日本語	英語	中国語	韓国語	備考
日本語	日本語	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックと第一言語が同じ場合は出願できません。
	英語	○	○※1	ー	ー	
	中国語	○	ー	○※2	ー	※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
英語	日本語	○	○	ー	ー	
	英語	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
	中国語	ー	○	○※2	ー	※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
中国語	日本語	○	△	ー	ー	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	ー	ー	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
上記以外の言語	日本語	○	△	ー	ー	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	ー	ー	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○※2	ー	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 ※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。

＊「第一言語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が第一言語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日本語・英語・中国語のうち1つか2つの言語でも面接を行うことがあります。

② 国際学生　編入学者選抜

募集学群・募集人員

学群・学類・専修		募集人員	受入れ年次	
			2年次	3年次
リベラルアーツ学群		若干名	ー	○
ビジネスマネジメント学群		若干名	○	○
グローバル・コミュニケーション学群		若干名	ー	○
健康福祉学群	健康科学専攻	若干名	ー	○
	スポーツ科学専攻		ー	○
	社会福祉学専攻		ー	○
	精神保健福祉学専攻		ー	○
	実践心理学専攻		ー	○
芸術文化学群	演劇・ダンス専修	若干名	○	○
	音楽専修		○	○
	ビジュアル・アーツ専修		○	○

※航空学群、教育探究科学群、健康福祉学群保育学専攻の募集はありません。

〈編入学者選抜注意事項〉

○各学群・コース等により受入れ年次が異なります。詳しくは上記（**募集学群・募集人員**）の受入れ年次を確認してください。

○入学後に行われる既修得単位認定の状況によっては、編入学後2年間もしくは3年間の在学では卒業できない場合があります。

○リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、芸術文化学群はそのカリキュラムの特徴から、編入学後、標準修業年限までの在学では卒業が困難となる場合があります。

○健康福祉学群を志望する者のうち、「社会福祉士国家試験受験資格」「精神保健福祉士国家試験受験資格」の各資格取得を目的としている場合は、当該実習の要件などもあり、2年間の在学では卒業は非常に困難です。

○編入学後、卒業時に教育職員免許状の授与を希望している場合、2年間の在学では当該所要資格を充足することは困難です。

○「公認心理師国家試験受験資格」の取得を目的としている場合は、当該実習の要件などもあり、2年間の在学での卒業は非常に困難です。

出願資格と選抜方式固有の出願条件

外国籍を有する者（日本の在留資格が「永住者」「定住者」は除く）で、次のIおよびⅡの条件を満たす者。

Ⅰ. 次の各号のいずれかに該当する者。

1．外国において、その国の学校教育制度（原則、大学・短大）に基づく課程のうち14年以上を修了、または2026年3月31日までに修了する見込みのある者で、かつその国の大学入学資格を有する（見込み）者、またはこれに準ずる者

2．日本の大学、短期大学を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者

3．日本の大学に2年以上在籍した者または修了見込みの者

4．日本の大学に1年以上在籍した者または修了見込みの者（2年次編入への出願に限る）

5．日本の専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）または2026年3月31日までに修了見込みの者

1）文部科学大臣の定める基準は修業年限が2年以上でかつ、課程の修了に必要な総授業時間が定められた授業時間以上であること。

2）平成6年6月21日文部科学省告示第84号の規定により専門士の称号の付与が認められた課程を修了した者、平成6年以前に修了した者は入学部インフォメーションセンターに問い合わせること。

6．日本の高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）または2026年3月31日までに修了見込みの者

7．日本の高等専門学校を卒業した者、または2026年3月31日までに卒業見込みの者

8．本学において個別の入学資格審査により、14年の過程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者で、20歳に達した者

※上記8で出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査の手続が必要です。詳しくは、P.27を確認してください。

Ⅱ. 各学群に定めるいずれかの語学資格の点数以上を取得していること。

〈2年次〉

学群・学類・専修	国際学生　編入学者選抜
ビジネスマネジメント学群	・「日本語能力試験（JLPT）」N1 ・「日本語能力試験（JLPT）」N2合格で108点以上 ・「日本留学試験（EJU）」の「日本語（記述除く）」で220点以上※1 ・「J-CAT」260点以上 ＊J-CATについては、■『J-CAT』の受験について参照 ・「JPT」600点以上　・「J.TEST」650点以上　・「NAT-TEST」1級
芸術文化学群	

Ⅱ 募集内容・出願資格 ② 国際学生　編入学者選抜

〈3年次〉

学群・学類・専修		国際学生　編入学者選抜
リベラルアーツ学群		「日本語能力試験（JLPT）」N1で総合得点90点以上 ・「日本留学試験（EJU）」の「日本語（記述除く）」で250点以上※1 ・「J-CAT」275点以上 ＊J-CATについては■『J-CAT』の受験について参照 ・「JPT」660点以上　・「J.TEST」700点以上　・「NAT-TEST」1級
ビジネスマネジメント学群		
健康福祉学群		
芸術文化学群		
グローバル・コミュニケーション学群	英語トラック	・TOEFL iBT® 65点以上※2 ・TOEIC® L&R 650点以上※2 ・IELTS™ 5.5以上※2 ・HKDSE English Language Subject level4以上
	中国語トラック	・HSK5級以上、または中国語検定2級以上
	日本語トラック	・日本語能力試験（JLPT）N1で総合得点90点以上 ・日本留学試験（EJU）日本語（記述は除く）250点以上※1 ・J-CAT 275点以上 ＊J-CATについては■「J-CAT」の受験について 参照 ・JPT 660点以上 ・J.TEST 700点以上 ・NAT-TEST 1級

※　いずれも対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年以内に受験し取得した級・スコアが有効となり、出願時に語学資格を取得している必要があります。

※1 日本語は聴解、聴読解、読解の合計（記述は除く）。

※2 TOEFL ITP®、TOEFL iBT® MyBest™ scores、TOEIC IP®、IELTS™（General Training Module）は対象としません。TOEFL iBT® Special Home Editionは対象とします。

■「J-CAT」の受験について

「J-CAT（Japanese Computerized Adaptive Test）」で取得したスコアを出願資格として用いることができます。本学が主催した試験のスコアのみ有効です。他団体主催の「J-CAT」や、個人でアカウントを申請し、受験した際のスコアは利用できません。

※詳細は本学ホームページ（https://admissions.obirin.ac.jp/admissions/jcat/）から確認してください。
※新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、日本語能力試験（JLPT）や日本留学試験（EJU）の受験機会が回復されている現状を踏まえて、本学での「J-CAT」受験の取り扱いを再検討するため、2025年7月現在、本学主催の「J-CAT」試験実施を休止しています。再開する場合は、本学ホームページでお知らせします。

① 選抜方法

重要

面接試験の実施方法について
面接審査は全ての受験生がオンラインでの受験になります。

■ 全学群共通

〈2年次〉

選抜方式	選抜方法
国際学生　編入学者選抜	オンライン面接（約20分）

〈3年次〉

選抜方式	選抜方法
国際学生　編入学者選抜	1.小論文テスト※1（事前提出） 2.オンライン面接（志望理由ならびに事前提出した小論文の内容含む）約20分※3

*1 オンライン面接に伴い、小論文テストを事前提出とします。提出方法は下記「小論文テストの事前提出方法について」を確認してください。

*2 芸術文化学群受験者は、上記事前提出の小論文テストのほか、出願書類として小論文 様式6 を出願登録期間内に提出する必要があります。

*3 グローバル・コミュニケーション学群では、主な学修言語で開講される科目の履修が可能な語学力の有無を確認するため、希望する専修の言語で小論文、面接を行います。面接時間は約25分です。

「小論文テストの事前提出方法について」（3年次編入のみ）

出願登録後、出願完了メールが自動送信され、そのメールに小論文テストの確認および提出方法を記載しています。「②出願期間等の日程」の小論文テスト事前提出期間内に、自筆で作成した解答用紙をスキャンし、そのPDFデータを出願サイト上にアップロードしてください。写真撮影データでは判読できない場合があるため、余裕をもって小論文を作成し、スキャンデータを準備してください。

② 出願期間等の日程

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
9月 2025	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25 Ⓐ	26	27
28	29	30		Ⓓ		

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
10月 2025			1	2	3	4
5	6	7	8 ⒷⒸ	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
11月 2025						1
2	3	4	5	6	7 Ⓔ	8
9	10	11 Ⓕ	12	13	14	15 Ⓖ
16	17	18	19	20	21 Ⓗ	22
23	24	25	26	27	28 Ⓘ	29
30						

第１回編入学者選抜（日時は全て日本時間）

■ **インターネット出願**

Ⓐ **出願登録**：９月25日㈭～10月８日㈬
最終日は正午（12時）まで

Ⓑ **検定料支払期限**：10月８日㈬

Ⓒ **出願書類提出期限（オンライン）**：10月８日㈬

■ Ⓓ **小論文テスト事前提出期間**：出願登録後～10月15日㈬

■ Ⓔ **受験票発行開始日**：11月7日㈮
15時から順次発行
集合時間等の詳細については、インターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行・印刷し、確認してください。

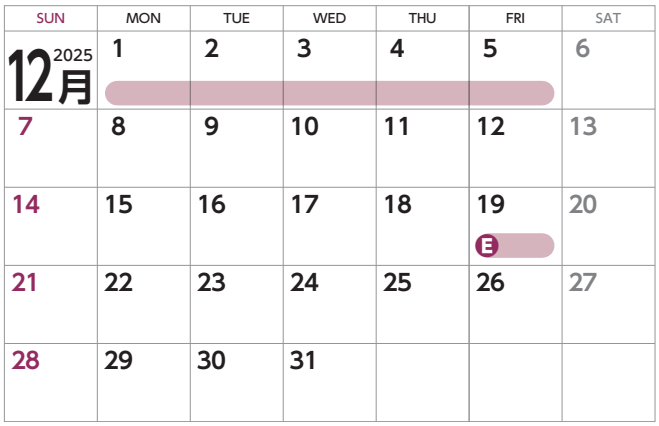
■ Ⓕ **オンライン面接試験事前接続テスト**※1 **（参加必須）**
11月11日㈫９：00 ～ 11月12日㈬17：00
※都合の良い日時にアクセスしてテスト実施

■ Ⓖ **試験日**：11月15日㈯オンライン

Ⓗ **合格発表日**：11月21日㈮
合否照会は10時から可能です。合格者のみ13時から合格通知（振込用紙）が確認できます。

■ Ⓘ **手続締切日**※2：11月28日㈮
一括納入（入学金 ＋ 春学期学納金）※期限厳守

※1〈オンライン面接試験事前接続テスト〉オンラインでの接続を事前に行います。テストの詳細は受験票発行日にお知らせします。なお、合否には一切関係ありません。
※2入学手続については、P.31（Ⅴ合否照会・入学手続）を確認してください。



第2回編入学者選抜（日時は全て日本時間）

■ インターネット出願

Ⓐ **出願登録**：11月18日㈫～11月28日㈮
最終日は正午（12時）まで

Ⓑ **検定料支払期限**：11月28日㈮

Ⓒ **出願書類提出期限（オンライン）**：11月28日㈮

■ Ⓓ **小論文テスト事前提出期間**：出願登録後～12月5日㈮

■ Ⓔ **受験票発行開始日**：12月19日㈮
15時から順次発行
集合時間等の詳細については、インターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行・印刷し、確認してください。

■ Ⓕ **オンライン面接試験事前接続テスト**※1 **（参加必須）**
1月7日㈬9：00～1月8日㈭17：00
※都合の良い日時にアクセスしてテスト実施

■ Ⓖ **試験日**：2026年1月10日㈯オンライン

Ⓗ **合格発表日**：2026年1月16日㈮
合否照会は10時から可能です。合格者のみ13時から合格通知（振込用紙）が確認できます。

■ Ⓘ **手続締切日**※2：2026年1月23日㈮
一括納入（入学金＋春学期学納金）※期限厳守

※1〈オンライン面接試験事前接続テスト〉オンラインでの接続を事前に行います。テストの詳細は受験票発行日にお知らせします。なお、合否には一切関係ありません。
※2入学手続については、P.31（Ⅴ合否照会・入学手続）を確認してください。

③ 出願書類

【出願書類】

全ての書類がオンライン提出で、郵送不要です。提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。

提出方法	チェック	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	□	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	□	志望理由書	4	2年次編入の出願者のみ提出してください。
ウェブ入力	□	経費支弁書	12	「永住者」「定住者」は提出不要。その他の資格（「留学」、「家族滞在」等）は要提出。
データ	□	顔写真データ	–	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。**データ加工不可** （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
PDFデータアップロード	□	最終出身学校等卒業・修了証明書または卒業・修了（見込）証明書	–	最終出身学校等発行の証明書で卒業証書ではありません。日本の高等学校を卒業する（見込）者は高等学校発行の「調査書」を提出すること。コピー不可 証明書が日本語・英語以外の言語の場合は、あわせて日本語訳(出願者本人による翻訳で可。様式は任意。)を提出すること。
PDFデータアップロード	□	最終出身学校等の成績証明書	–	最終出身学校等発行の証明書であること。コピー不可 証明書が日本語・英語以外の言語の場合は、あわせて日本語訳(出願者本人による翻訳で可。様式は任意。)を提出すること。
PDFデータアップロード	□	出願条件を満たす語学資格等の証明書	–	出願資格として出願先の学群が出願条件として定めている語学資格の証明書コピーを提出。 グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ※「日本留学試験(EJU)」の場合は、成績確認書を提出すること。
PDFデータアップロード	□	合格証明書・認定書・語学力評価のスコア	–	日本留学試験、日本語能力試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等、過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。
ウェブ入力	□	研究目標リポート	–	**3年次への出願者のみ、提出してください。**（2年次への出願者は、研究目標リポートの提出の必要はありません） ・「桜美林大学を志望する理由」、「これまでの学生生活で、主としてどのようなテーマや分野を研究・学習してきたのか」、「志望する学群に編入した場合、ゼミ等を通じてどんな問題を研究したいのか」について1,500字程度にまとめてください。 ・リベラルアーツ学群の志願者は、領域および希望するメジャー（主専攻）とマイナー（副専攻）を必ず明記してください。 ・グローバル・コミュニケーション学群の志願者は、希望する言語トラックの言語を使用してください。英語の場合は750語程度、中国語は1,200字程度で入力してください。
ウェブ入力	□	活動報告書	3	**芸術文化学群を受験する方のみ、提出してください。** 高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。 ただし、幼少期等から始めた活動であっても、高等学校等入学時点で継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 別添資料（コピー可）の提出は任意です。資料や提出物は返却しません。
PDFデータアップロード	□	小論文（芸術文化学群用）	6	**芸術文化学群を受験する方のみ、提出してください。** ※小論文は「芸術と社会」をテーマに、あなた自身の考えを日本語800字以内で論じてください。

対象者別追加提出書類

<日本国籍、または有効な在留カードを有する出願者>

提出方法	チェック	様式名	様式番号	注意事項
PDFデータアップロード	□	住民票の写し	–	在留資格が記載されているもの。マイナンバーの記載は不要。コピー不可 (※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。)

〈在留資格が「留学」の出願者〉

提出方法	チェック	様式名	様式番号	注意事項
PDFデータアップロード	□	日本語学校等の証明書類または「確認証明書」	–	【日本国内の日本語学校に在籍または直近で在籍していた者】 ①成績証明書、②出席状況証明書、③修了(見込)証明書。 【日本語学校等の証明書類がない者】様式11の書類を提出。 【日本の大学または専門学校に在籍している者】 ①成績証明書、②在籍証明書。 【日本語学校等の証明書類がない者】様式11の書類を提出。 ※一通の証明書に上記の内容が併記されている場合は重複する内容の証明書提出は必要ありません。 ※成績証明書には、可能な限り語学授業のクラス・レベル名を明記してください。

<在留資格認定証明書の申請が必要な方>

提出方法	チェック	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	□	在留資格認定証明書大学代理申請願	14	「在留資格認定証明書」の申請が必要な方は提出してください。

Ⅲ 個別の入学資格審査

本学では、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを判断する「個別の入学資格審査」を出願前に行います。
P.10（出願資格と選抜方式固有の出願条件）、P.20（出願資格と選抜方式固有の出願条件）のうち「個別の入学資格審査」での入学を希望する方のみ。その他の資格で出願する方の「個別入学資格の審査」は不要です。

個別の資格審査の対象となる者

以下の1.～3.のいずれかに該当する者

1. 「個別の入学資格審査」の対象となる者は、我が国において高等学校相当として指定した外国人学校のうち、修業年限が12年の外国人学校を卒業した者、または卒業見込みの者。
2. 1. に該当しない者であって、専修学校、各種学校等における学習歴および社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者で、2026年3月31日までに18歳に達している者。
3. 旧制諸学校の卒業者等に準ずる者。

個別の入学資格審査の内容

申請者の学習歴、実務経験および取得している資格等を、申請された書類を基に総合的に審査し、高等学校を卒業した者（1年次入学）や14年以上の教育課程を修了した者（編入学）と同等以上の学力があると認められるかについての判定を行います。具体的には以下の事項が審査対象の内容です。

- 専修学校、各種学校等の課程の修了等の学習歴
- 社会における実務経験や取得した資格等
- 大学の科目等履修生として修得した一定の単位
- その他、旧制諸学校で修了した課程の内容

提出書類

1. 桜美林大学個別の入学資格審査申請書 様式15
2. 教育施設長発行の調査書または成績証明書 厳封
3. 教育施設の概要（教育施設の概要が明記されているもの）
4. 教育施設の規則（教科目、授業時間数および卒業要件の明記されているもの）
5. 教育施設の出身者進路概要（大学等進学者および就職者の人数が把握できるもの）

※3. 教育施設の概要に規則や進路概要の事項が記載されている場合は、4.および5.の提出は不要です。
※封筒の表に「入学資格審査申請書類在中」と朱書し、書留郵便にて入学部に提出してください。

提出期限

選抜方式	第1回 国際学生選抜 国際学生奨学生選抜 国際学生編入学者選抜	第2回 国際学生選抜 国際学生奨学生選抜 国際学生編入学者選抜
提出期限	2025年8月27日（水）消印有効	2025年10月17日（金）消印有効

※「個別の入学資格審査」の結果は、申請書類受領後2～3週間程度で申請者本人宛に文書で通知します。

「個別の入学資格審査」は入学者選抜試験を免除するものではなく、出願資格の有無を判定するものです。
判定の結果、「出願資格有」と認定された場合は、定められた出願期間内に所定の出願手続きをし、入学者選抜試験を受ける必要があります。
なお、「個別の入学資格審査」の結果は、本学の該当する入学者選抜にのみ効力が及ぶものです。

〈書類提出先〉
〒194-0294　東京都町田市常盤町3758
桜美林大学 入学部個別審査担当

ご質問、ご不明点がありましたら入学部インフォメーションセンター（TEL：042-797-1583　平日 9時～17時）まで連絡してください。

Ⅳ 出願手続

1 出願上の注意事項

- 一度提出された書類および納入された検定料は、原則として返還しません。
  ただし、以下のケースに該当する場合は、検定料に限り返金にかかる手数料を差し引いた金額を返還します。選抜ごとに定められた期限までに手続きを行う必要があります。
  ①検定料を支払ったが、出願期間内に出願書類を提出しなかった
  ②検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が完了しなかった

[検定料返還の手続き方法]

対象者には受験票発行開始日以降、インターネット出願サイトの「マイページ」に「検定料返還申請」ボタンが表示されます(受験票発行開始日から1週間程度かかることがあります)。
検定料返還の手続きをする方は、「マイページ」の諸注意事項をよく読み、以下の申請期限までに手続きを行ってください。申請期限後の申し出については返還しません。

[検定料返還申請期限]

総合型選抜(第1回)	2025年10月2日(木)
総合型選抜(航空学群フライト・オペレーションコース)	2025年10月2日(木)
総合型選抜(第2回)	2025年11月21日(金)
国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜(第1回)	2025年11月21日(金)
学校推薦型選抜(指定校制・公募制)	2025年12月5日(金)
指定校制学校推薦型選抜(航空学群フライト・オペレーションコース)	2025年12月5日(金)
国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜、学校推薦型選抜(指定校制)(第2回)、総合型選抜(第3回)	2026年1月2日(金)
一般選抜(前期)、大学共通テスト利用選抜(前期)	2026年2月10日(火)
一般選抜(中期)、大学共通テスト利用選抜(中期)	2026年3月5日(木)
一般選抜(後期)、大学共通テスト利用選抜(後期)、総合型選抜(第4回)	2026年3月18日(水)

※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても検定料の返還はできません。

[検定料の返還時期]

入学辞退申請完了後、約1ヵ月でご指定の金融機関へ振り込みます。

- 出願後に、以下を変更することはできません。
  志望学群ならびに選抜方式(全学群)、領域(リベラルアーツ学群)、入学後に学修を希望する主たる言語(グローバル・コミュニケーション学群)、専攻(健康福祉学群)、専修(芸術文化学群)。
  出願時に間違いがないことを必ず確認してください。

2 検定料について

■ 検定料について

検定料は以下の通りです。

- リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群
  検定料35,000円

検定料の支払いは、以下の2つの支払い方法により、インターネットで出願する際に選択してください。なお、検定料のほかに事務手続料が別途かかります。

①指定のコンビニエンスストア（日本国内限定）での支払い

②クレジットカードを利用しての支払い

※一度納入された検定料は返金できません。

3 受験票

- インターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行日時以降、順次発行します。
- 「受験票」は印刷ボタンより印刷し、試験当日に提示できるように準備してください（A4サイズ推奨）。また、集合時間等の詳細は受験票で確認してください。
- 試験日時の変更はいかなる理由があっても応じません。

4 試験当日の注意事項

■ キャンパス・中国の指定拠点で受験する方

- 自宅等で「受験票」を印刷し、試験当日に必ず持参してください。
- 町田キャンパスの受験者及びその他のキャンパスでの受験者は、会場ごとに本学スタッフの指示に従ってください。
- 集合時間までに予め指定された控室もしくは試験室に入り、指定された座席に着席してください。出欠の確認をとり、受験上の注意を伝達します。集合時間に遅れると受験に支障をきたしますので、十分注意してください。
- 面接・実技審査は集合時間から30分以上経過した場合は原則受験することができません。不測の事態により、遅刻の恐れがある場合は、受験票に記載されている電話番号に連絡をし、担当者の指示に従ってください。
- 試験当日、試験場付近や下車駅にて下宿・アパート等の勧誘をしている場合がありますが、本学と一切関係はありませんので注意してください。

■ オンラインで受験する方

- 自宅等で「受験票」を印刷し、試験当日に必ず手元に準備してください。
- オンライン面接試験事前接続テストと同じ環境で受験してください。（同じ部屋・パソコン等環境の確保）
- 受験環境の不備により試験に不具合が生じた場合は、試験が認められない可能性があります。十分な準備をした上で、受験してください。
- 試験中は、バーチャル（仮想）背景は使用しないでください。
- 不正防止の為、試験中の様子は録画しますので、予めご了承ください。
- 受験する環境（部屋）に、受験する本人以外の方が在室しないようにしてください。
- 試験途中での入退室はできません。
- 試験中、面接者が指示する以外のパソコン操作（インターネット検索等）は行わないでください。
- 試験に利用するパソコン（スマートフォン）および筆記用具以外の不正行為につながる恐れのあるもの（電子機器等）は持ち込まないでください。
- 試験内容の記録（録画や録音、メモ等）や、SNSでの発信等は行わないでください。
- その他、不正行為に該当するような行為は行わないでください。
- 試験当日、または後日、上記に違反するような事案が判明した場合（SNSでの発信等を含む）には、合格した場合であっても不合格となる可能性があります。

※その他、オンライン面接に伴う事前準備事項および試験当日の諸注意事項については受験生サイト（https://admissions.obirin.ac.jp/admissions/online-interview/）に公開している情報を別途確認してください。

5 受験時および修学時に特別な配慮や支援が必要な方

受験時および修学時に特別な配慮・支援を要する志願者は、事前に相談してください。事前相談を希望される方は、受験生サイト（本学Webサイト）より申請書をダウンロードのうえ、必要事項を記入し以下の提出期限までに桜美林大学入学部へメールまたは郵送するようにしてください。書類を確認次第、大学より事前相談の日程等に関する連絡を差し上げます。

■ 提出期限

選抜方式	第1回 国際学生選抜 国際学生奨学生選抜 国際学生編入学者選抜	第2回 国際学生選抜 国際学生奨学生選抜 国際学生編入学者選抜
提出期限	2025年8月27日（水）消印有効	2025年10月17日（金）消印有効

事前相談がない場合や、提出期限を過ぎてから申請書を提出された場合は、受験時の配慮の対応ができないことがあります。また、事前相談なく受験して、合格・入学後に配慮・支援の申し出があった場合、申し出をした学期には、配慮・支援の対応ができないことがあります。特性によって、入学後に卒業要件にかかわる授業の履修が困難になり、卒業が難しくなる可能性もありますので、配慮・支援を希望される場合は必ず事前に相談してください。

■ 提出先

メール：d_support@obirin.ac.jp

書類提出先：〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学 入学部

ご質問、ご不明点がありましたら入学部インフォメーションセンター（TEL：042-797-1583　平日9時～17時）まで連絡してください。

V 合否照会・入学手続

1 合否照会・合格通知・振込用紙

- インターネット出願サイトの「マイページ」にログインし、「合否照会」ボタンをクリックしてください。合否結果が表示されます。
  合否については、上記の方法で確認してください。合否の理由等も含め電話やメールでの問い合わせには、一切回答できません。
- 合否照会は合格発表日の午前10時より確認できます。
- 「合格通知（振込用紙）」は合格者のみ、合格発表日の13時より印刷できます。
  インターネット出願サイトの「マイページ」にログインして印刷し、入学手続き（学納金の納入）をしてください。
  合格通知（振込用紙）の郵送はしませんので、注意してください。

2 入学手続等（学納金の納入について）

- 「合格通知」とともに表示される学納金の振込用紙をインターネット出願サイトの「マイページ」より印刷してください。合格発表日の13時より「合格通知（振込用紙）」が印刷可能になります。納入期限までに入学金と春学期分の授業料等を、銀行振込にて納入してください。
  合格通知（振込用紙）の郵送はしませんので、注意してください。
  ゆうちょ銀行、ATM、インターネットバンキング等による振り込みは、受験番号の入力漏れ等により本人確認ができないことがあるため、注意してください。やむを得ず利用される場合は、「受験番号」と「受験生氏名（カタカナ）」を振込依頼人欄に必ず入力してください。また、個別の入金確認等は行っておりませんので、領収書等が必要な場合は銀行窓口を利用してください。また、本学窓口では取り扱いできません。
- 期限内に前項の納入がない場合は、入学の意志がないものとみなします。また、期限後の振込はいかなる理由でも一切受け付けません。
- 大学より「入学関係書類」の案内メールを受信したら「マイページ」へログインをして、書類を確認してください。
  該当者全員へ一斉に案内を行いますので、入学手続を早く完了しても早く案内が届くことはありません。
  案内までには時間を要します。「メール受信時期」に関する問い合わせには応じかねます。
- 「入学関係書類」記載の期日までに必ず卒業証明書を提出してください。既卒者等は、「入学関係書類」の内容に従って書類を提出してください。

■ 入学辞退について

学納金の納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合はインターネット出願サイトの「マイページ」より所定の手続を行い、受理された場合、入学金および返金にかかる手数料を差し引いた納入金を返金します。いかなる理由でも入学金の返金はできません。

[返還の対象となる選抜]

総合型選抜（併願）、公募制学校推薦型選抜（併願推薦）、国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

[入学辞退申請期限]

2026年3月31日（火）15：00までにインターネット出願サイトの「マイページ」にて手続きを完了してください。
※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても入学辞退の受領および学納金の返還はできません。
※入学辞退の申請を完了した場合はいかなる理由においても入学辞退の申請を撤回することはできません。

[学納金の返還時期]

入学辞退申請完了後、約1ヶ月でご指定の金融機関へ振り込みます。

3 在留資格「留学」の取得について

■ 新規で在留資格「留学」を申請する方

日本国籍を保持していない者が本学に入学するには、日本での適法な在留資格が必要となります。「留学」の査証を取得する場合、方法はいくつかありますが、より確実な方法として、次の方法を採用します。

申請方法：桜美林大学が代理人となり、本人に代わって出入国在留管理庁に「在留資格認定証明書」の交付申請を行い、申請結果を本人にお知らせいたします。「在留資格認定証明書」の交付を受けた後、本人が居住する国・地域を管轄する日本大使館または日本領事館へ査証を申請してください。

※詳細については、合格者に別途お知らせします。

なお、他の大学等からも入学許可を受けている場合、「在留資格認定証明書」の交付申請が重複しないように注意してください。重複した場合、「在留資格認定証明書」は交付されません。また、交付申請時には経費支弁者の預金残高 証明書を提出してください。

※最初の1年間の生活費等として、120万円以上の残高が必要

※日本語・英語以外の言語の場合は、日本語訳（ご自身で作成可）を添付

※提出書類は、必ず原本を用意し、原本のPDFデータを提出してください。PDFデータを提出したとしても、原本提出を求められた場合には、速やかに提出できるように準備、保管をしておいてください。

「在留資格認定証明書」の交付までに、1か月半～2か月程度かかります。諸手続が遅くなると、入国が間に合わなくなる可能性がありますので、注意してください。

■ 在留資格「留学」の更新（または「留学」への変更）申請が必要な方

大学が発行する所属機関用の入管所定書類が必要となります。当該書類が必要な方は、「入学許可証」を受領後、以下にお問い合わせください。

ビジネスマネジメント学群以外：国際交流センター

TEL：042-797-5419（平日9：00～17：00）／メール：inbound@obirin.ac.jp

ビジネスマネジメント学群：新宿キャンパス事務室（国際交流担当）

TEL：03-3366-0201（平日9：00～17：00）／メール：sjk_info@obirin.ac.jp

更新に際し、「在留カード」「パスポート」「現在所属学校の学生証」「桜美林大学入学許可書」の提示が必要です。

4 学納金

2026年度入学者（1年次）学納金一覧

■ リベラルアーツ学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

■ グローバル・コミュニケーション学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

※2年次に実施する1学期間の海外留学が原則必須です。留学にかかる費用は別途必要です。
※日本語トラックおよびトリリンガルトラックの留学は任意です。

■ ビジネスマネジメント学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

※エアラインホスピタリティ留学にかかる費用は別途必要です。
※「実習・演習科目」については別途費用がかかる場合があります。

■ 健康福祉学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	542,000円	25,000円	150,000円	—	867,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,584,000円
2年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	—	717,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,434,000円
3年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	—	717,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,434,000円
4年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	50,000円	767,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,484,000円

■ 芸術文化学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	582,000円	25,000円	150,000円	—	907,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,664,000円
2年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	—	757,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,514,000円
3年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	—	757,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,514,000円
4年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	50,000円	807,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,564,000円

■ 教育探究科学群

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	515,000円	25,000円	150,000円	—	840,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,530,000円
2年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	—	690,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,380,000円
3年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	—	690,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,380,000円
4年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	50,000円	740,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,430,000円

■ 航空学群　航空管制コース　航空機管理コース　空港管理コース

	春学期						秋学期				年次別総計
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	627,000円	25,000円	150,000円	—	952,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,754,000円
2年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	—	802,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,604,000円
3年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	—	802,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,604,000円
4年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	50,000円	852,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,654,000円

※航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コースは別途海外研修費用として約2,100,000円が必要となります。なお、物価や為替レートの変動等により費用が変更になる場合があります。

■ 航空学群　フライト・オペレーション（パイロット養成）コース

	春学期							秋学期					年次別総計
項目	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	実験実習費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	—	1,552,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,954,000円
2年次	—	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	—	1,402,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,804,000円
3年次	—	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	—	1,402,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,804,000円
4年次	—	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	50,000円	1,452,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,854,000円

※上記のほか、FAA・JCABライセンス取得のための訓練費が必要となります。〈参考〉2025年の訓練費：19,000,000円
米国への渡航前に訓練費の一部を原則一括で納入していただきます。なお、飛行訓練費等は、物価、航空燃料費上昇、為替レートの変動やカリキュラム編成の変更等により変更になる場合があります。また、訓練の個人の進捗状況により追加費用が発生する場合があります。
・FAA（Federal Aviation Administration）：米国連邦航空局
・JCAB（Japan Civil Aviation Bureau）：国土交通省航空局
※訓練地や飛行訓練内容は変更となる場合があります。

【全学群共通】
※教職課程を履修する方は学納金のほかに別途費用が必要となります。そのほか、資格の取得に別途費用が必要となる場合があります。
※履修する科目によっては別途教材費等が必要となります。

2026年度入学者（編入学）学納金一覧

■ リベラルアーツ学群

	春学期					秋学期		
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	授業料	教育充実費	施設設備費
1年次	年次に関わらず一律150,000円。支払いは入学年次の1回のみです。	482,000円	25,000円	150,000円	—	482,000円	25,000円	150,000円
2年次		482,000円	25,000円	150,000円	—	482,000円	25,000円	150,000円
3年次		482,000円	25,000円	150,000円	—	482,000円	25,000円	150,000円
4年次		482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	482,000円	25,000円	150,000円

■ グローバル・コミュニケーション学群

	春学期					秋学期		
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	授業料	教育充実費	施設設備費
1年次	年次に関わらず一律150,000円。支払いは入学年次の1回のみです。	482,000円	25,000円	150,000円	—	482,000円	25,000円	150,000円
2年次		482,000円	25,000円	150,000円	—	482,000円	25,000円	150,000円
3年次		482,000円	25,000円	150,000円	—	482,000円	25,000円	150,000円
4年次		482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	482,000円	25,000円	150,000円

※2年次に実施する1学期間の海外留学が原則必須です。留学にかかる費用は別途必要です。
※日本語トラックおよびトリリンガルトラックの留学は任意です。

■ ビジネスマネジメント学群

	春学期					秋学期		
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	授業料	教育充実費	施設設備費
1年次	年次に関わらず一律150,000円。支払いは入学年次の1回のみです。	482,000円	25,000円	150,000円	—	482,000円	25,000円	150,000円
2年次		482,000円	25,000円	150,000円	—	482,000円	25,000円	150,000円
3年次		482,000円	25,000円	150,000円	—	482,000円	25,000円	150,000円
4年次		482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	482,000円	25,000円	150,000円

※エアラインホスピタリティ留学にかかる費用は別途必要です。
※「実習・演習科目」については別途費用がかかる場合があります。

■ 健康福祉学群

	春学期					秋学期		
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	授業料	教育充実費	施設設備費
1年次	年次に関わらず一律150,000円。支払いは入学年次の1回のみです。	542,000円	25,000円	150,000円	—	542,000円	25,000円	150,000円
2年次		542,000円	25,000円	150,000円	—	542,000円	25,000円	150,000円
3年次		542,000円	25,000円	150,000円	—	542,000円	25,000円	150,000円
4年次		542,000円	25,000円	150,000円	50,000円	542,000円	25,000円	150,000円

■ 芸術文化学群

	春学期					秋学期		
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	授業料	教育充実費	施設設備費
1年次	年次に関わらず一律150,000円。支払いは入学年次の1回のみです。	582,000円	25,000円	150,000円	—	582,000円	25,000円	150,000円
2年次		582,000円	25,000円	150,000円	—	582,000円	25,000円	150,000円
3年次		582,000円	25,000円	150,000円	—	582,000円	25,000円	150,000円
4年次		582,000円	25,000円	150,000円	50,000円	582,000円	25,000円	150,000円

■ 教育探究科学群

	春学期					秋学期		
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	授業料	教育充実費	施設設備費
1年次	年次に関わらず一律150,000円。支払いは入学年次の1回のみです。	515,000円	25,000円	150,000円	—	515,000円	25,000円	150,000円
2年次		515,000円	25,000円	150,000円	—	515,000円	25,000円	150,000円
3年次		515,000円	25,000円	150,000円	—	515,000円	25,000円	150,000円
4年次		515,000円	25,000円	150,000円	50,000円	515,000円	25,000円	150,000円

■ 航空学群　航空管制コース　航空機管理コース　空港管理コース

	春学期					秋学期		
項目	入学金	授業料	教育充実費	施設設備賣	委託徴収金（卒業諸費）	授業料	教育充実費	施設設備費
1年次	年次に関わらず一律150,000円。支払いは入学年次の1回のみです。	627,000円	25,000円	150,000円	—	627,000円	25,000円	150,000円
2年次		627,000円	25,000円	150,000円	—	627,000円	25,000円	150,000円
3年次		627,000円	25,000円	150,000円	—	627,000円	25,000円	150,000円
4年次		627,000円	25,000円	150,000円	50,000円	627,000円	25,000円	150,000円

※航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コースは別途海外研修費用として約2,100,000円が必要となります。なお、物価や為替レートの変動等により費用が変更になる場合があります。

■ 航空学群　フライト・オペレーション（パイロット養成）コース

	春学期						秋学期			
項目	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	施設設備賣	委託徴収金（卒業諸費）	授業料	教育充実費	実験実習費	施設設備費
1年次	年次に関わらず一律150,000円。支払いは入学年次の1回のみです。	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	ー	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円
2年次		627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	ー	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円
3年次		627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	ー	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円
4年次		627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	50,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円

※上記のほか、FAA・JCABライセンス取得のための訓練費が必要となります。〈参考〉2025年の訓練費：19,000,000円
米国への渡航前に訓練費の一部を原則一括で納入していただきます。なお、飛行訓練費等は、物価、航空燃料費上昇、為替レートの変動やカリキュラム編成の変更等により変更になる場合があります。また、訓練の個人の進捗状況により追加費用が発生する場合があります。
・FAA（Federal Aviation Administration）：米国連邦航空局
・JCAB（Japan Civil Aviation Bureau）：国土交通省航空局
※訓練地や飛行訓練内容は変更となる場合があります。

Ⅵ その他

1 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続およびこれらに付随する事項を行うために利用します。また、これらの業務の一部を本学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、指定した業者に対して提出していただいた個人情報を提供することがあります。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、本学における入学者選抜および教育改善のための調査に利用します。

2 キャンパスについて

■ キャンパス一覧

学群	入学後に主に通うキャンパス
リベラルアーツ学群	町田キャンパス
グローバル・コミュニケーション学群	町田キャンパス
ビジネスマネジメント学群	新宿キャンパス
健康福祉学群	町田キャンパス
芸術文化学群	東京ひなたやまキャンパス
教育探究科学群	プラネット淵野辺キャンパス（PFC）
航空学群	多摩キャンパス（多摩アカデミーヒルズ）

3 グローバル・コミュニケーション学群の英語（E方式）受験について

グローバル・コミュニケーション学群をE方式で受験する方は、以下の内容を確認してください。

Applications to the College of Global Communication are accepted in English (Type E). See page 36～ for more details.

1 Screening and Selection Procedures <College of Global Communication>

There are two types of screening and selection procedures: Type E and selection for Scholarships for International Students Type E. Please apply for one of these two types. Applications will be assessed according to the evaluation procedure for each application type.

	Screening and Selection Procedures	
Type E	Eligible applicants	Those with one of the following scores on English proficiency tests TOEFL iBT® 61、TOEIC® L&R 600、IELTS™ 5.5、HKDSE English Language Subject level3 Only official TOEFL® and TOEIC® scores are accepted. (We do not accept ITP, IP iBT MyBest™ scores, and IELTS™ [General Training Module] scores.)(TOEFL iBT® Special Home Edition is also accepted.)
	Screening and Selection Procedures	1. Screening of application documents (including scores for English proficiency tests) 2. Interview (20 minutes)※1
Selection for Scholarships for International students Type E ※2	Eligible applicants	Those with one of the following scores on English proficiency tests TOEFL iBT® 67、TOEIC® L&R 710、IELTS™ 6.0、HKDSE English Language Subject level4 Only official TOEFL® and TOEIC® scores are accepted. (We do not accept ITP, IP iBT MyBest™ scores, and IELTS™ [General Training Module] scores.)(TOEFL iBT® Special Home Edition is also accepted.)
	Screening and Selection Procedures	1. Screening of application documents (including scores on English proficiency tests) 2. Interview (20 minutes)※1

※1 For further information about interviews, please see page 40"College of Global Communication Interview Procedure"
※2 For further information about scholarships, please see page 39"❹ Scholarships for International Students."

2 Admissions Schedule (All schedules are in Japan Standard Time)

Schedule	First Round (Type E / Scholarships for International Students Type E)	Second Round (Type E / Scholarships for International Student Type E)
Online application period	Thursday, September 25 to Wednesday, October 8 (Noon)	Tuesday, November 18 to Friday, November 28 (Noon)
Deadline for payment of application fee	Wednesday, October 8	Friday, November 28
	Mailing labels, which are required for the submission of application documents, will be available for printing after payment of the examination fee. Please make the examination fee payment as soon as possible after you complete the online registration process to allow for enough time to mail the application documents.	
Deadline for submission of application documents	Wednesday, October 8 (must be postmarked by the deadline date)	Friday, November 28 (must be postmarked by the deadline date)
Start date for the issuance of examination admission cards	Friday, November 7 (15:00)	Friday, December 19 (15:00)
	※Details about meeting times etc., can be found by printing the examination admission card from the My Page for entrance exam (マイページ) section of our website.	
Connection test for online interview※2 (participation compulsory)	Tuesday, November 11 - Wednesday, November 12 (9：00am ～ 5:00pm).	Wednesday, January 7 - Thursday, 8 (9：00am ～ 5:00pm).
	※Access to a convenient date and test enforcement (the required time is 10 minutes and the degree is determined)	
Examination date (online interview)	Saturday, November 15	Saturday, January 10
Announcement date of examination results	Friday, November 21, at 10:00.	Friday, January 16, at 10:00.
Deadline for entrance procedures (entrance fee + tuition fees for the spring semester)	Friday, November 28 (one-time payment)	Friday, January 23 (one-time payment)

※1 Applicants for 2nd round will have fewer days from the date of admission to Japan until the date of entrance or scheduled arrival in Japan, and as a result, there may be cases in which they will not be able to arrive in time for the entrance ceremony, the start of classes, and participation in various orientations. If you wish to apply for 2nd round, please understand this situation and submit Form 25 (Application for University Representation during Certificate of Eligibility Acquisition Process) at the time of application.
※2 <Connection test for online interview> Connection test is scheduled prior to the online interview. Details will be posted on the day of the issuance of examination admission cards. This connection test will not affect the result of entrance examination.

❸ Application documents for international enrollment

※Please send all the following documents by mail within the application period.

Applications will not be processed if the application documents are incomplete. Submitted documents will not be returned.

Original/ Copy/Data	Check	Application documents	Number	Note
Data	☐	Application form for admissions	E-1	
Data	☐	Personal Statement	E-2	
Data	☐	Study Abroad Funding Plan	E-3	・Select the relevant funding plan method. Fill in the required information and submit.
Data	☐	Face image data (to be uploaded at the time of online application)	–	・Upload a photograph of your face taken at the time of your online application (front view of your face and body above the waist, head uncovered, and with a plain background). ・Accepted file formats are JPEG (extensions: .jpg and .jpeg) and PNG (extension: .png). ・This photograph will be used on your student ID card after enrollment. Avoid wearing a school uniform, using informal snapshots or low-quality photographs.
Data	☐	Residence certificate (Jūmin-hyō [住民票])	–	・Submit a certified copy of your Residence Certificate (住民票 Jūmin-hyō) issued by the municipal office etc. ・Applicants with no residence in Japan are not required to submit this document. <Note> Photocopies are not accepted. Submit a certified copy issued by municipality office.
Copy	☐	Copy of Certificate showing proof of language proficiency on standardized tests	–	・certificates of proof of language ability in languages (English / Japanese / Chinese) other than their first language / native language, should attach copies of certificates showing the result and official score.
Data	☐	Original certificate of graduation or certificate of expected graduation from high school or equivalent	–	・This is not your diploma. It is the certificate issued by the graduating high school or equivalent concerning application eligibility. ・For applicants graduating (or expected to graduate) from high schools in Japan, please submit documents issued by their high schools in Japan.
Data	☐	English translation of the certificate of graduation or certificate of expected graduation from high school or equivalent	–	・If the submitted certificates, stated in point above, are in languages other than Japanese or English, attach an English translation (there is no set format and the applicant's selftranslation is accepted)
Data	☐	Original transcript of high school or equivalent	–	・Must be the official certificate issued by the graduating high school or equivalent.
Data	☐	English translation of transcript of high school or equivalent	–	・If the submitted certificates, stated in point above, are in languages other than Japanese or English, attach an English translation (there is no set format and the applicant's selftranslation is accepted)

〈Status of residence is "Student"〉

Original/ Copy/Data	Check	Application documents	Number	Note
Data	□	The transcript issued by Japanese language institutes etc.	–	【Documents are required to be submitted by those who have enrolled in a Japanese language school in Japan.】 1 Transcript Certificate 2 Certificate of School Attendance 3 Certificate of (expected) Graduation 【Documents are required for those who have enrolled in a Japanese university or technical school in Japan】 1 Transcript Certificate 2 Certificate of Enrollment. (*If the above information is listed on one certificate, submitting duplicate certificates is unnecessary.)
Data	□	Certificate of Verification issued by Japanese language institutes etc. (* If requested documents are not issued from the Japanese language school.)	11	If you cannot submit three documents (1 Transcript Certificate, 2 Certificate of School Attendance, and 3 Certificate of (expected) Graduation) from the Japanese language school in Japan, submit Certificate of Verification instead.

〈Foreign-registered applicants without resident status in Japan〉

Original/ Copy/Data	Check	Application documents	Number	Note
Data	□	Application for University Representation during Certificate of Eligibility Acquisition Process	E-4	・Foreign-registered applicants without resident status in Japan must submit this document.

4 Scholarships for International Students

1. Content of scholarship

A 10%～100% reduction in tuition costs (scholarships may be awarded for a maximum of four years within the course term if the conditions for continuation, as stated below in point 3, are met).

Tuition reduction rates will be determined based on a number of factors including, but not limited to, past academic performance, language ability, extracurricular activities, application documents and interview. When you get qualified as a scholarship student, you can find your tuition reduction rate on "マイページ (mypage)" on the day of results announcement.

2. Preconditions for applicants

The following three conditions are the preconditions for a scholarship application. Please check that you understand them before applying.

(1) Average monthly allowance (excluding tuition fees) is 90,000 yen or less.

(2) If the applicant has a financial supporter residing in Japan, his/her annual income should not exceed the income base amount for type 2 Scholarships by the Japan Student Services Organization (JASSO).
For further information, please see the Japan Student Sevices Organization (JASSO) web site.

(3) Scholarships and other benefits from other sources, whether on or off campus, must be less than 100,000 yen per month.

3. Conditions for continuation

Screening for continuation is conducted every semester. If the conditions are not met, the scholarship will be suspended in the following semester. Should it be suspended three times, the student will be disqualified and the scholarship will be discontinued.

Conditions:

(1) He/she obtains a GPA* scores of 3.0 or above from enrollment.
*GPA stands for Grade Point Average, which indicates the average score of grades received from classes studied (maximum score is 4.0).

(2) He/she meets the minimum requirement for the total number of credits defined by the university for each semester.

(3) He/she submits a report on academic and living conditions at the end of each semester.

Details will be provided in writing to the successful applicants of their selection for scholarships.

4. Acceptance of selection for Scholarships for International Students

Two types of acceptance will be awarded:

1. Accepted as a scholarship student
2. Accepted to the university but ineligible for a scholarship.

The decision of whether or not to register for enrollment is optional in both cases.

College of Global Communication Interview Procedure

In order to test applicants' language proficiency, the College of Global Communication conducts oral examinations in multiple languages. Information about languages used in interviews can be found below.

Each applicant will be interviewed by two examiners. The interview will be 20 minutes in length.

Applicants will be asked about their motivation for applying as well as the contents of application documents,

Applicants will also be asked questions to ascertain their language level including questions in which they must look at pictures and photographs.

○ Language (s) used in interviews　△ Language (s) used in interviews if necessary

Native language ※1	A preferred language to major after enrollment (language track)	Languages used in interviews			
		Japanese	English	Chinese	Notes
Japanese	Japanese	—	—	—	Applicants' native language cannot be selected as a preferred language to study.
	English	○	○	—	
	Chinese	○	—	○※2	※2 Applicants with no Chinese learning experience will be exempted from interviews in Chinese.
English	Japanese	○	○	—	
	English	—	—	—	Applicants' native language cannot be selected as a preferred language to study.
	Chinese	—	○	○※2	Applicants with no Chinese learning experience will be exempted from interviews in Chinese.
Chinese	Japanese	○	△	—	In addition to an interview in Japanese, another interview in English may be conducted if necessary.
	English	△	○	—	In addition to an interview in English, another interview in Japanese may be conducted if necessary.
	Chinese	—	—	—	Applicants' native language cannot be selected as a preferred language to study.
Other languages	Japanese	○	△	—	In addition to an interview in Japanese, another interview in English may be conducted if necessary.
	English	△	○	—	In addition to an interview in English, another interview in Japanese may be conducted if necessary.
	Chinese	△	△	○※2	In addition to an interview in Chinese, interviews in Japanese and English may be conducted if necessary. Applicants with no Chinese learning experience will be exempted from interviews in Chinese.

※1 Native language indicates the language in which applicants are most comfortable in academic subjects.

[Notes]

- Although languages used in interviews are in accordance with the table above, if the native language of the applicant is not Japanese, additional interviews may be conducted in the preferred main language to study after enrollment, as well as in one or two other languages, i.e. Japanese, English or Chinese.

《出願様式》

【出願にあたっての留意点】

1. オンライン提出した書類の郵送は不要ですが、原本提出を求めることがありますので、速やかに提出できるように必ず保管しておいてください。
2. 黒のボールペンで**志願者本人の自筆で記入してください**（厳封書類を除く）。鉛筆や消せるボールペン（フリクション等）は使用しないでください。
3. “志願者経歴書“に記入する「領域、専攻、専修、言語、コース」の選択と記入時は、入試概要の「各学群における注意事項」と、以下の特記事項を必ず確認してください。
   いずれも、出願後の変更はできません。
4. 指定された書類を揃えて出願期間内に提出してください。なお、原則として提出書類は返却しません。
5. 書類に不備がある場合は出願を受け付けません。

【出願学群ごとの特記事項】

■リベラルアーツ学群

□新入学
希望する“領域”を必ず1つ選択、記入してください（出願後の変更はできません）。
●人文　●社会　●自然

□編入学
希望する“領域”を必ず1つ選択、記入してください（出願後の変更はできません）。
●人文　●社会　●自然

また、希望するメジャー（主専攻）とマイナー（副専攻）をすべてのプログラム（統合領域含む）から選択してください。
メジャーとマイナーは異なる領域から1つずつ選択してください。また、メジャーとマイナーは必ずしも出願時に選択する領域から選ぶ必要はありません。詳細については募集要項の“各学群における注意事項” から確認してください（出願後の変更はできません）。

■グローバル・コミュニケーション学群

学修を希望する言語トラックを 1 つ選択してください。トリリンガルトラックへ出願する場合は、2 年次に学修を希望する言語も選択してください。（出願後の変更はできません。）
●英語　●中国語　●日本語

※入学後に学修を希望する主たる言語として、第一言語（母語）は選択できません。

■ビジネスマネジメント学群

希望するプログラム等の記入は不要です。入学後の選択になります。

■健康福祉学群

希望する“専攻”を必ず1つ選択、記入してください（出願後の変更はできません）。
●健康科学　●スポーツ科学　●社会福祉学　●精神保健福祉学　●実践心理学

■芸術文化学群

希望する“専修”を必ず1つ選択、記入してください（出願後の変更はできません）。
●演劇・ダンス　●音楽　●ビジュアル・アーツ

■教育探究科学群

希望する分野等の記入は不要です。

※グローバル・コミュニケーション学群を英語（E方式）で受験する方向けの様式は日本語版の次のページにあります。
The application forms for those who apply to the Global Communication and wish to take the exams in English (Type E) are located after the Japanese forms.

［様式1］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

志願者経歴書

志望学群名	領域、専攻、専修、言語、コース	グローバル・コミュニケーション学群の志望者は、入学後に学修を希望する言語トラックを1つ選択してください。
学群		英語　中国語　日本語 トリリンガル（韓国語・英語） トリリンガル（韓国語・中国語）

※卒業見込の場合は出願時の在学期間と在学年数を記入。学校所在地は都道府県名、国外の場合は国、州省名を記入。

高等学校入学以降を記入してください。

外国の高等学校出身者、国際学生選抜志願者は小学校入学以降を記入してください。

学校名	所在地	在学期間(西暦)	在学年数
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月

高等学校卒業後の学歴(大学・予備校・語学学校・各種専門学校等)や職歴・兵役等を記してください。

学校名または勤務先	所在地	期間(西暦)	内容
		年　月～　年　月	
		年　月～　年　月	
		年　月～　年　月	
		年　月～　年　月	

外国の高等学校出身者は日本語の学習歴(高等学校等の課程や独習を含む)を記入してください。

学校名	1週間の修学時間	レベル
	時間／週	初　・　中・　上
	時間／週	初　・　中・　上
	時間／週	初　・　中・　上

［様式4］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

志望理由書

学群の志望理由を記入してください。その際、本学での学修を通じてどのように成長し、将来、どのように社会に貢献したいのかについても記入してください。

受験する選抜・使用言語ごとに指定の文字数が異なります。	
総合型選抜：基礎力評価方式	（日本語）300字以上400字以内
国際学生選抜	（日本語）500字以上600字以内
学校推薦型選抜、社会人選抜、編入学者選抜（2年次編入）	（日本語）600字以上800字以内

＊グローバル・コミュニケーション学群の志願者で英語で作成する場合は「英語記入欄」に記入してください。

（日本語記入欄　横書き→）

200

400

600

800

［様式4］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

志望理由書　（英語記入欄）

学群の志望理由を記入してください。その際、本学での学修を通じてどのように成長し、将来、どのように社会に貢献したいのかについても記入してください。

受験する選抜・使用言語ごとに指定の文字数が異なります。	
総合型選抜：基礎力評価方式	（英語）150語以上200語以内
国際学生選抜	（英語）250語以上300語以内
学校推薦型選抜、社会人選抜、編入学者選抜（2年次編入）	（英語）300語以上400語以内

（英語記入欄　横書き→）

紙提出（本人自筆）

［様式6］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

小論文（芸術文化学群用）

以下のテーマについて、あなた自身の考えを800字以内で論じなさい。

小論文テーマ
芸術と社会

（日本語記入欄　横書き→）

200

400

600

800

［様式11］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

確認証明書

Certificate of verification issued by Japanese language institutes etc.

以下の志願者が出願するにあたり、提出すべき書類が指定どおり用意されていることを確認するとともに、志願者の学生生活について以下のことを証明いたします。

志願者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1. 在籍校名・：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
クラスレベル
※クラスレベルは日本語学校等で授業がレベル別に行われている場合、ご記入ください（中級、上級など）。

2. 志願者の在籍期間：　　年　月 ～　　年　月（　年　カ月）

3. 志願者の出席日数・もしくは、出席時間数・出席すべき（日数＿＿＿日／時間数＿＿＿時間）うち欠席（日数＿＿＿日／時間数＿＿＿時間）出席率＿＿＿％

4. 志願者の特筆すべき事項（以下の記入欄に授業態度・生活態度を含めて記載ください）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記載者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

勤務先名（学校名）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所・電話番号
〒

電話：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

［様式12］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

経費支弁書

桜美林大学長　殿

【申請者】

氏名: _____

国籍: _____　　生年月日: _____年 _____月_____日

【経費支弁者】

住所: 〒_____

氏名: _____　　英字氏名: _____

申請者との関係: _____　　電話番号: _____

記入日: （西暦）_____年_____月_____日

私は、このたび上記申請者が日本国に入国した際および貴大学在学中の経費支弁者になりましたので、以下の通り経費支弁を引き受けた経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

１．経費支弁を引き受けた経緯

（申請者の経費支弁を引き受けた経緯および申請者との関係について具体的に記載してください。）

２．経費支弁内容

私は、申請者の日本国滞在について、以下のとおり経費を支弁することを証明します。また、申請者が在留期間更新許可申請を行う際には、送金証明書または本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

経費の支弁方法等（合計金額が１年間の学納金等を十分賄える金額となるように記入してください。）

支出元および**月平均**支弁額　※該当する項目の□に✓を入れてください。		支弁方法
□ 申請者	（　　）円	
□ 経費支弁者	（　　）円	□振込　□携行　□海外送金等
□ その他	（　　）円	□振込　□携行　□海外送金等
□ 奨学金	（　　）円	□振込　□携行　□海外送金等

(奨学金受給機関名)　※該当する項目の□に✓を入れてください。

□外国政府　□日本国政府　□地方公共団体（　　）

□公益社団法人または公益財団法人（　　）□その他（　　）

［様式14］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

在留資格認定証明書　大学代理申請願

私は海外在住のため、桜美林大学入学における留学ビザ取得に必要な「在留資格認定証明書」の申請を、私自身が日本で行うことができません。つきましては、私に代わり桜美林大学が同証明書の申請手続きを行っていただきますよう、宜しくお願いいたします。

なお、以下の各項の内容について了承の上、依頼いたします。

1．提出した書類に不備・不足のあった場合、代理申請が行われないことについて異議申し立てをしません。
2．入国管理局から「在留資格認定証明書」が発行されない場合、桜美林大学に責任を求めません。
3．入学許可日から、入学日・来日予定日までの間の日数が少なく、その結果、日本への入国が入学式、授業開始日、各種オリエンテーション参加に間に合わない場合であっても、それを承諾し、異議申し立てをしません。
4．「在留資格認定証明書」の発行状況に関わらず、「入学辞退申請期限」を過ぎた後の辞退（返金）は認められないことについて、異議申し立てをしません。

記入日	（西暦）　　年　　月　　日
氏名（英語表記）	
フリガナ	
E-mail	
住所	
電話番号	(国番号から記入してください)

※既に日本の日本語学校・高等学校等に在籍しており、日本の在留資格（留学ビザ等）を持っている方はこの書類の提出は不要です。

紙提出（本人自筆）

［様式15］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

桜美林大学 個別の入学資格審査申請書

桜美林大学長　殿

桜美林大学の入学資格審査を受けたいので、必要書類を添えて申請します。

（フリガナ）
氏　　名（自署）　　国　籍

生年月日　　年　　月　　日（　　歳）　　性　別　　男　・　女

〒　　電話（自宅）

住　　所　　電話（携帯）

出願予定の学群　　出願予定の選抜方式

（学習歴）

① 初等教育（小学校相当）

教育施設名

教育施設の住所

在 学 期 間　　年　　月 入学　～　　年　　月 卒業

② 中等教育（中学校相当）

教育施設名

教育施設の住所

在 学 期 間　　年　　月 入学　～　　年　　月 卒業

③ 中等教育（高等学校相当）

教育施設名

教育施設の住所

在 学 期 間　　年　　月 入学　～　　年　　月 卒業

④ 教育施設名

教育施設の住所

在学期間　　年　　月 入学　～　　年　　月 卒業

注：学習歴欄で転校等により、２ヶ所以上在籍がある場合は本用紙をコピーし、使用してください。

［様式E-1］

（※Office Use Only）Application Number：

NAME	

J. F. OBERLIN UNIVERSITY
COLLEGE OF GLOBAL COMMUNICATION

APPLICATION FORM FOR ADMISSIONS

Language track	Your native Language
English Japanese Chinese	

Please circle your application method.	
	International Student Selection
	International Student Scholarship Selection

Personal Details

Family Name (As it appears on your passport)	Given Name(s)
	First Middle
Family Name in Chinese Characters / Kanji (if applicable)	Given Name(s)
	First Middle

Date of Birth (YYYY/MM/DD)	/ /
Nationality(ies)	
Do you have a Japanese Passport?	Yes / No
Visa Status (non-Japanese residing in Japan)	
Valid Until	

Email Address	
Address	
Telephone Number (Including Country Code)	+ ( ) - -
Fax (Including Country Code)	+ ( ) - -

First language	
Language(s) Spoken at Home	
Language of Education	
Other Language Abilities/ Qualifications	

Emergency Contact Information - Preferably in Japan, overseas if necessary

Name	
Address (Including postal code & country)	
Relationship to Applicant (e.g. Guardian)	
Telephone Number (Including Country Code)	
Email address	

Education History

Elementary/ Secondary	School Name	Location*	Date of Entrance and Graduation (YY/MM-YY/MM)	Length of Study (Y/M)	Language of Instruction
			-		
			-		
			-		
			-		
			-		
			-		
			-		

*If in Japan, write the prefecture; if overseas, write country and region

Secondary School Qualifications - Include qualifications received from the above noted secondary schools

Name of diploma/qualification/certificate received or expected to receive upon completion of secondary school including subjects/scores/grades etc.	
Name of secondary school you are graduating/graduated from	
Other information related to secondary school graduation	

Post-Secondary School Education, Qualifications, Work Experience etc. (University, vocational college, language school etc.)

Institution Name	Location	From - To (YY/MM - YY/MM)	Length of Study	Qualification	Language of Instruction / Communication
		-	__ Yrs __ Mths		
		-	__ Yrs __ Mths		
		-	__ Yrs __ Mths		
		-	__ Yrs __ Mths		
		-	__ Yrs __ Mths		

Japanese Study History (Include formal education and personal study)

Institution Name	From - To (YY/MM - YY/MM)

Institution Name	From - To (YY/MM - YY/MM)

Language Proficiency Certification

Test Name	Test Centre	Date of Certification (YYYY/MM/DD)	Level Passed	Score

Experience Abroad

List any extended periods spent outside your home country (Not including vacations, sightseeing etc.).

Location	Dates of Stay (YY/MM - YY/MM)	Length of Stay	Reason	Accompanied (Y/N)
	-	__ Yrs __ Mths		Y / N
	-	__ Yrs __ Mths		Y / N
	-	__ Yrs __ Mths		Y / N
	-	__ Yrs __ Mths		Y / N

Connection to Christianity - If the applicant is a Christian, please provide details

Date of Baptism / Christening (YYYY/MM)	
Age at Baptism / Christening	_____ Yrs _____ Mths
Location / Name of Church	
Christian Activities of Note	

Connection to J. F. Oberlin University (Only include connections within three generations of your extended family. Can include great-grandparents, grandparents, siblings, children, grandchildren, great-grandchildren, aunts, uncles, nephews, nieces.)

Name of Graduate (Family name, First name(s))	
Name of Graduate in Chinese Characters / Katakana	
Relationship to Applicant	
Year of Graduation	
Degree Program (major)	

Extracurricular Activities - Use the space below to write about extracurricular activities you have participated in that are relevant to your application

Special Recognition - Use the space below to write about any special achievements that are relevant to your application

（※Office Use Only）Application Number：

［様式E-2］

NAME	

J. F. OBERLIN UNIVERSITY
COLLEGE OF GLOBAL COMMUNICATION

PERSONAL STATEMENT

To be filled in by the applicant.
Describe in 250-300 words why you want to study in the College of GlobalCommunication. Explain how you expect to mature as a person during your four years of study and how you hope to contribute to society following graduation. (Use a black ballpoint pen. Write clearly.)

［様式E-3］

（※Office Use Only）Application Number：

NAME	

Study Abroad Funding Plan

Name (Please write your name as it appears on your passport)

Family Name	Given Name(s)

Name in Chinese Characters / Kanji (If applicable) or Katakana (if known)

Family Name	Given Name(s)

Fill in the table below indicating the source and amount of funds for studying at J. F. Oberlin University.

Total amount must exceed the total required for one full academic year of study. Check (✔) all boxes that apply.

	Source of Funds	**Amount（Currency：JPY）**
☐	**Applicant**	App.＿＿＿＿＿＿＿＿JPY／Yr
☐	**Relative** Name: ＿＿＿＿＿＿＿＿ Relationship to applicant: ＿＿＿＿＿＿＿＿ Address: ＿＿＿＿＿＿＿＿	App.＿＿＿＿＿＿＿＿JPY／Yr
☐	**Government or other institution** Name of scholarship etc.: ＿＿＿＿＿＿＿＿	App.＿＿＿＿＿＿＿＿JPY／Yr
☐	**Other** Details: ＿＿＿＿＿＿＿＿	App.＿＿＿＿＿＿＿＿JPY／Yr
	Total：	App.＿＿＿＿＿＿＿＿JPY／Yr

I declare that the above information is true.

Applicant's Signature：＿＿＿＿＿＿＿＿ Date: ＿＿＿＿＿＿＿＿

Year / Month / Date

［様式E-4］

（※Office Use Only）Application Number：

NAME	

Application for University Representation during Certificate of Eligibility Acquisition Process

Only complete this form if you wish J. F. Oberlin University to carry out the application process for the Certificate of Eligibility on your behalf.
Read the following conditions carefully. By completing this form you agree to the conditions 1-4 noted in bold below.

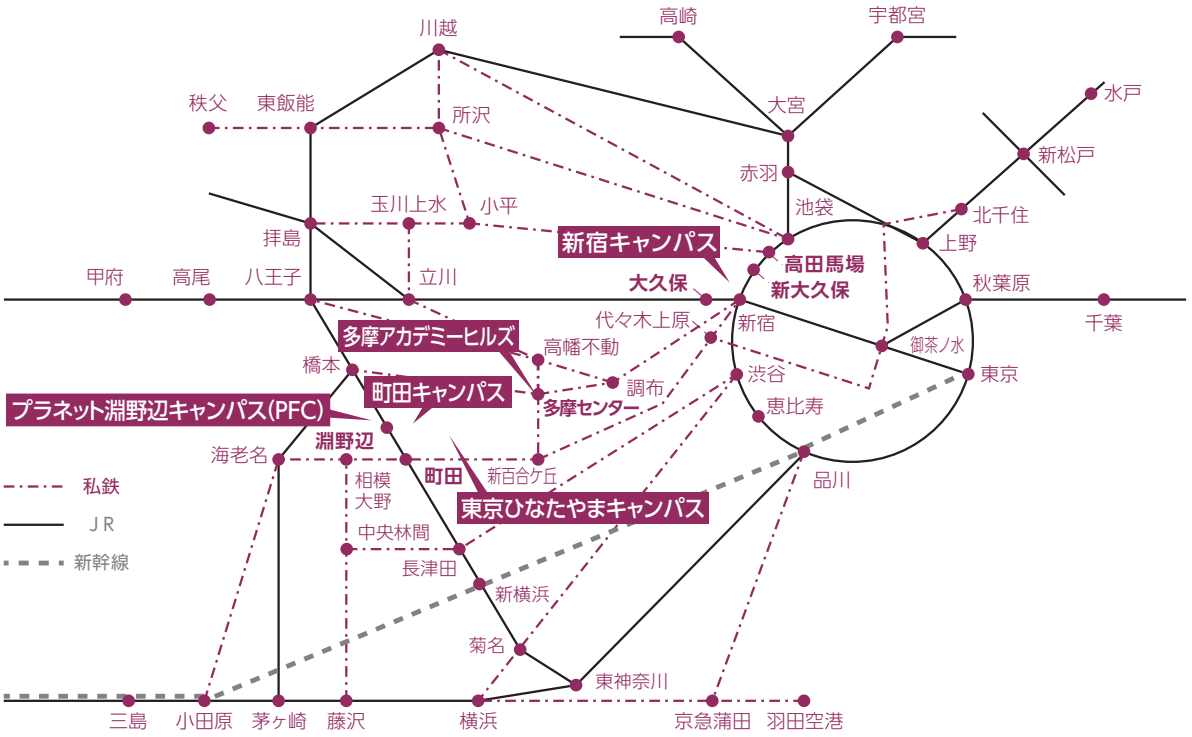
As an overseas resident, I am unable to apply for the required Certificate of Eligibility documentation necessary for study at J. F. Oberlin University. I therefore formally request that J. F. Oberlin University completes the application.

1. **I understand that in the event of J. F. Oberlin University not applying for the Certificate of Eligibility because my submitted application documents were incomplete, I cannot file a dispute.**
2. **I will not hold J. F. Oberlin University accountable if my application to the Immigration Bureau for a Certificate of Eligibility is unsuccessful.**
3. **I understand that should confirmation of my successful application arrive too late for me to attend events such as the Entrance Ceremony, Orientation, or first classes, I will accept this and not file a dispute with the university.**
4. **I understand that no refunds will be granted for withdrawals or refunds after the Decline Request Deadline has passed, regardless of the status of a Certificate of Eligibility.**

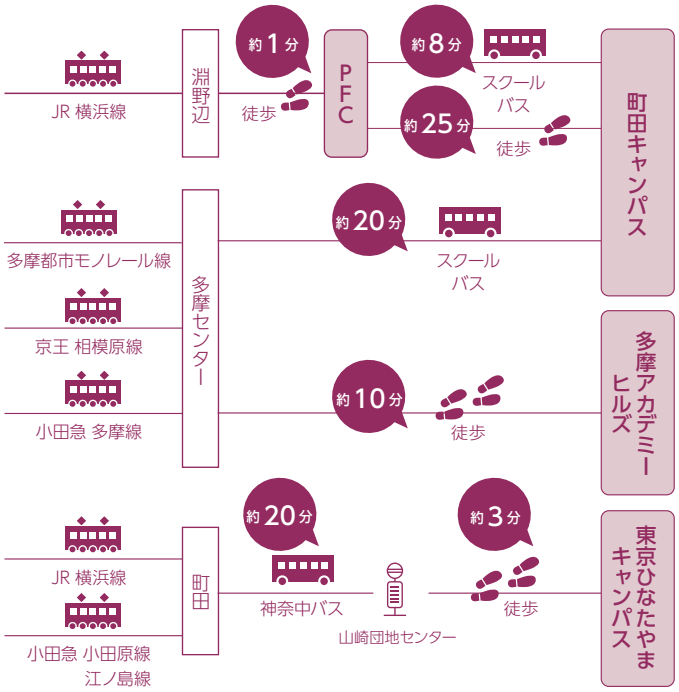
Date	_____ / _____ / _____ Year Month Day
Applicant's Name	
Name in Chinese Characters (If applicable)	
Name in Katakana (If known)	
E-mail (Required)	
Address	
Telephone Number (Including country code)	

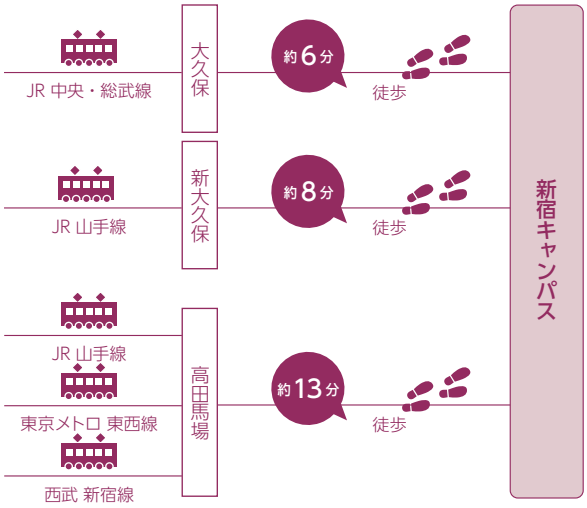
※Applicants who currently have Japanese residency status, are enrolled in a language school, or attend high school in Japan need not fill in this form.

■鉄道マップ



■最寄駅から各キャンパスまでのアクセス





※2025年4月1日現在

桜美林大学

ANNIVERSARY 100th
J. F. OBERLIN 2021

桜美林学園は、2021年に創立100周年を迎えました。

■お問い合わせ

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758　入学部インフォメーションセンター
TEL:042-797-1583　http://www.obirin.ac.jp/　メール:info-ctr@obirin.ac.jp

NIAD-QE UNIVERSITY Excellent Internationalization of Higher Education March 2017

Japan Institution for Higher Education Evaluation JIHEE since 2004 UNIVERSITY 2019.4-2026.3

2025.7.2